

「生活意識に関するアンケート調査」(第82回<2020年6月調査>)の結果

<はじめに>

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本支店や事務所を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めており、その一環として、1993年以降、全国の満20歳以上の個人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が別途行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計調査とは異なり、生活者の意識や行動を大まかに聴取する一種の世論調査です。

<目次>

1. 要 旨.....	2
1-1. 景況感等.....	2
1-2. 暮らし向き、消費意識.....	5
1-3. 物価に対する実感.....	10
1-4. 先行きの地価動向.....	14
1-5. 日本経済の成長力.....	15
1-6. 日本銀行に関する認知度・信頼度等.....	16
1-7. 家計の決済行動.....	26
2. 集計対象標本の属性分布.....	30
3. アンケート調査結果の詳細.....	31

【調査概要】

- ・ 調査実施期間 : 2020年5月8日(金)~6月3日(水)
- ・ 調査対象 : 全国の満20歳以上の個人
- ・ 標本数 : 4,000人(有効回答者数2,423人<有効回答率60.6%>)
- ・ 抽出方法 : 層化二段無作為抽出法
- ・ 調査方法 : 質問票によるアンケート調査(郵送調査法)

<本件に関する照会先>
情報サービス局総務企画グループ
広木、酒井(直通:03-3277-1609)

1. 要 旨

1-1. 景況感等

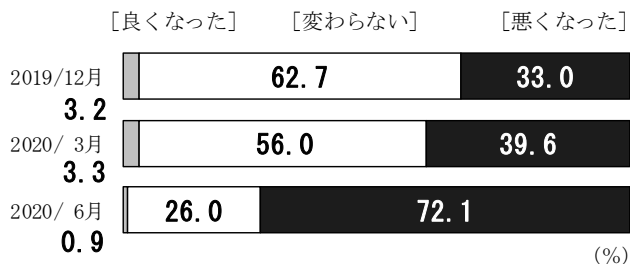
1-1-1. 景況感

景況感のうち、現在（1年前対比）については、「良くなった」との回答が減少し、「悪くなった」との回答が増加したことから、景況感D. I. は悪化した。先行き（1年後）については、「良くなる」との回答が増加し、「悪くなる」との回答が減少したことから、景況感D. I. は改善した。

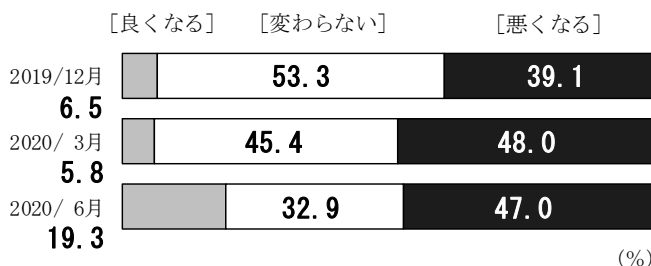
なお、現在の景気水準については、「良い」、「どちらかと言えば、良い」との回答の合計が減少し、「悪い」、「どちらかと言えば、悪い」との回答の合計は増加した。

(図表1) 景況感 [Q1、3、4]

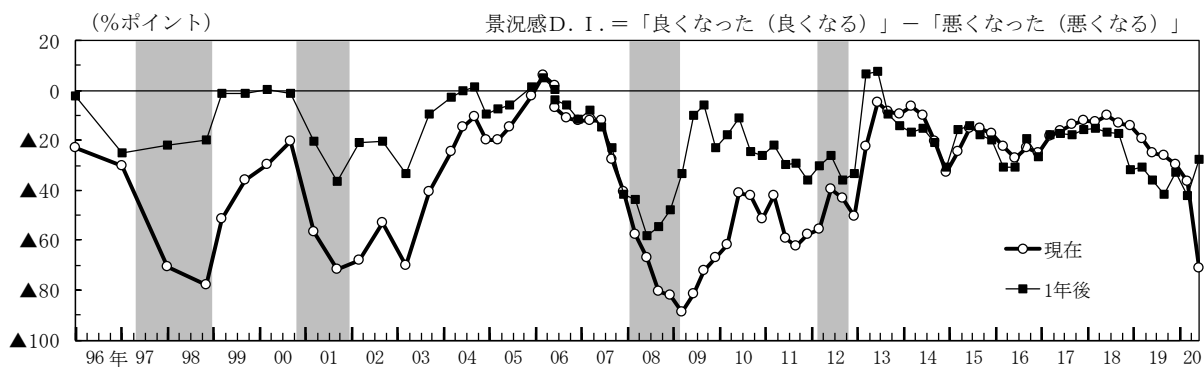
< 現在を1年前と比べると >



< 1年後を現在と比べると >



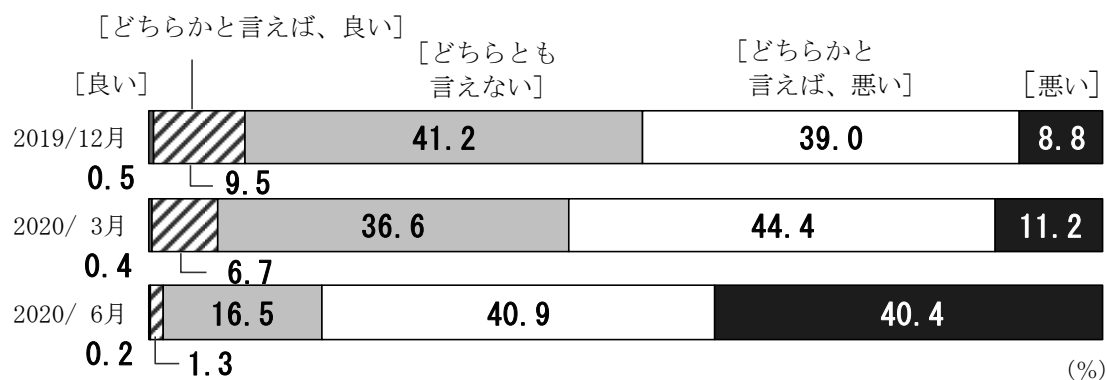
< 景況感D. I. の推移 >



	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6
現在の景況感D. I. (前回比)	▲13.5 (+2.7)	▲11.9 (+1.6)	▲12.4 (▲0.5)	▲9.9 (+2.5)	▲13.3 (▲3.4)	▲14.3 (▲1.0)	▲19.2 (▲4.9)	▲25.0 (▲5.8)	▲26.0 (▲1.0)	▲29.8 (▲3.8)	▲36.3 (▲6.5)	▲71.2 (▲34.9)
1年後の景況感D. I. (前回比)	▲18.0 (▲0.7)	▲15.5 (+2.5)	▲15.2 (+0.3)	▲16.6 (▲1.4)	▲17.1 (▲0.5)	▲32.0 (▲14.9)	▲30.6 (+1.4)	▲36.1 (▲5.5)	▲41.7 (▲5.6)	▲32.6 (+9.1)	▲42.2 (▲9.6)	▲27.7 (+14.5)

- (注) 1. 2006/6月調査までは訪問留置法、2006/9月調査からは郵送調査法（2006/6月の予備調査を含む）。
 2. 2006/6月調査までのD. I. は「良くなっていると思う」 - 「悪くなっていると思う」。
 3. 本調査は1998/3月まで年1回、1998/11月から2004/3月までは年2回、2004/6月からは年4回実施。2005/9月は実施せず。
 4. 現在の景況感D. I. のピークは 6.1（2006/3月）、ボトムは ▲88.9（2009/3月）。
 1年後の景況感D. I. のピークは 7.5（2013/6月）、ボトムは ▲58.3（2008/6月）。
 5. シャド一部分は、景気後退期。

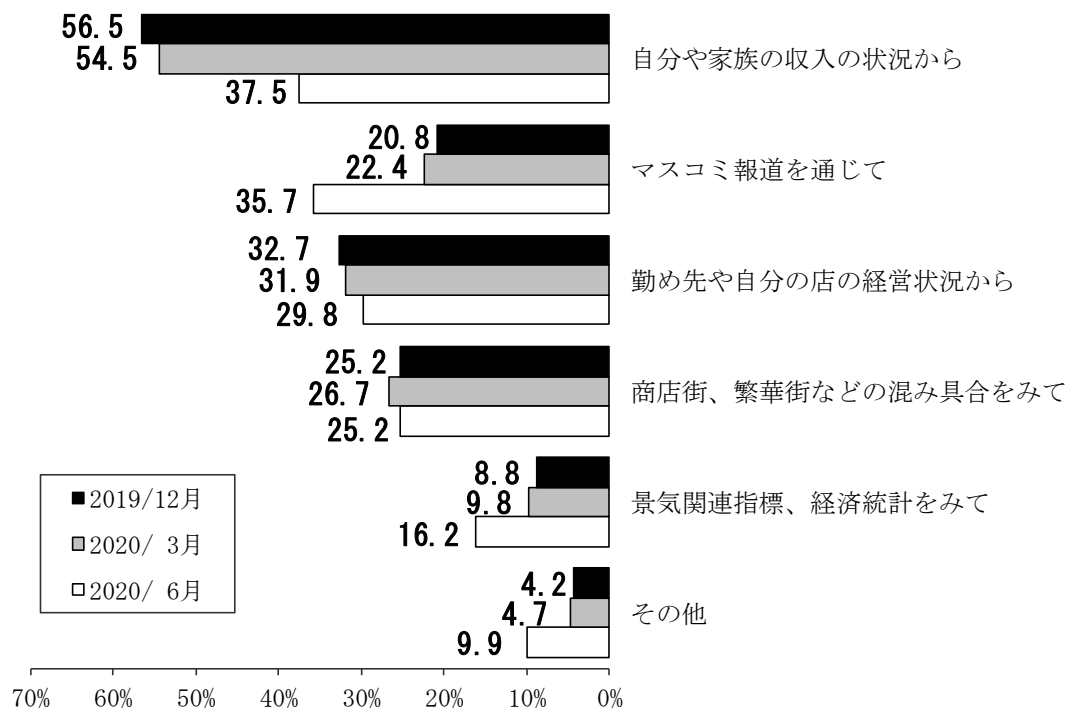
<現在の景気水準>



1-1-2. 景況判断の根拠

景況判断の根拠については、「自分や家族の収入の状況から」との回答が最も多く、次いで「マスコミ報道を通じて」、「勤め先や自分の店の経営状況から」といった回答が多かった。

(図表 2) 景況判断の根拠 (2つまでの複数回答) [Q2]



1-1-3. 金利水準

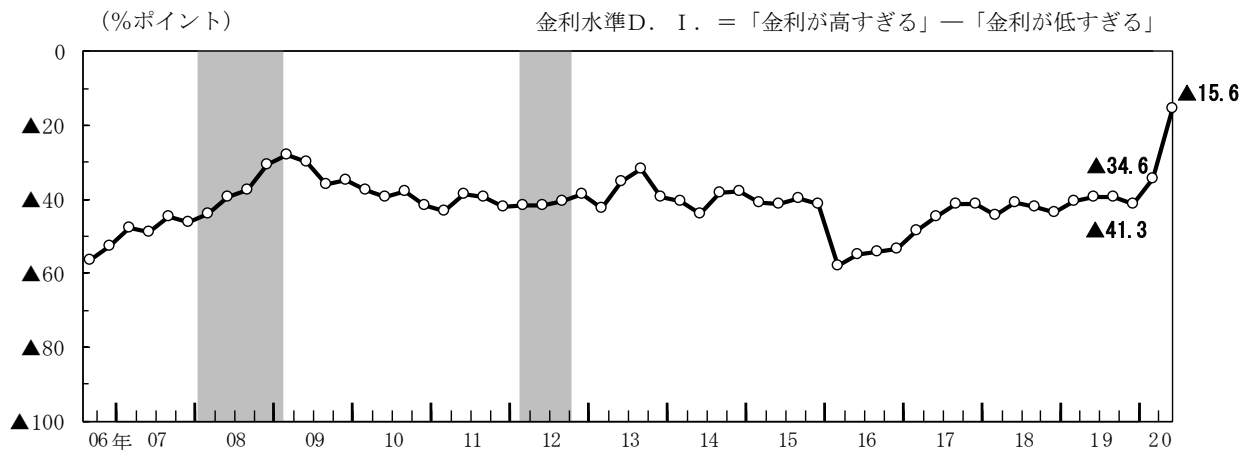
金利水準についての見方は、「金利が低すぎる」との回答が減少し、「金利が高すぎる」との回答が増加したことから、金利水準D. I. はマイナス幅が縮小した。

(図表3) 金利水準についての見方 [Q5]

	[金利が低すぎる]	[適当な水準である]	[金利が高すぎる]
2019/12月	52.3	33.2	11.0
2020/ 3月	48.0	35.9	13.4
2020/ 6月	35.2	41.4	19.6

(%)

<金利水準D. I. の推移>



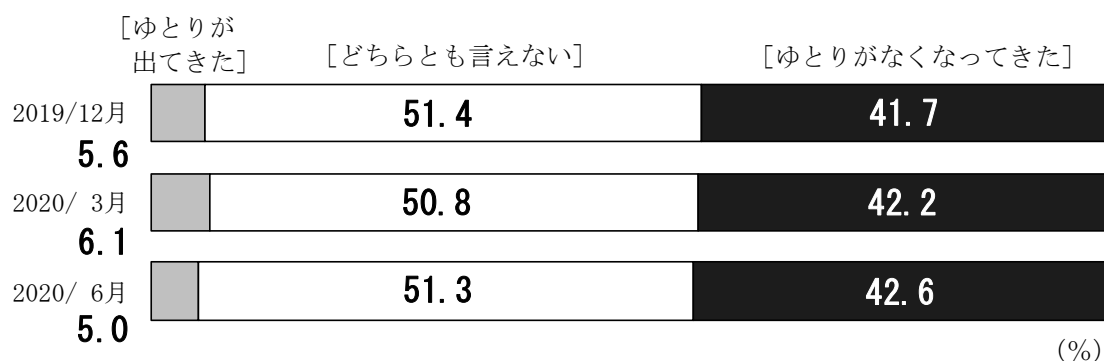
- (注) 1. 本設問は2006/9月から実施。
 2. 金利水準D. I. のピークは ▲15.6 (2020/6月)、ボトムは ▲58.0 (2016/3月)。
 3. シャド一部分は、景気後退期。

1-2. 暮らし向き、消費意識

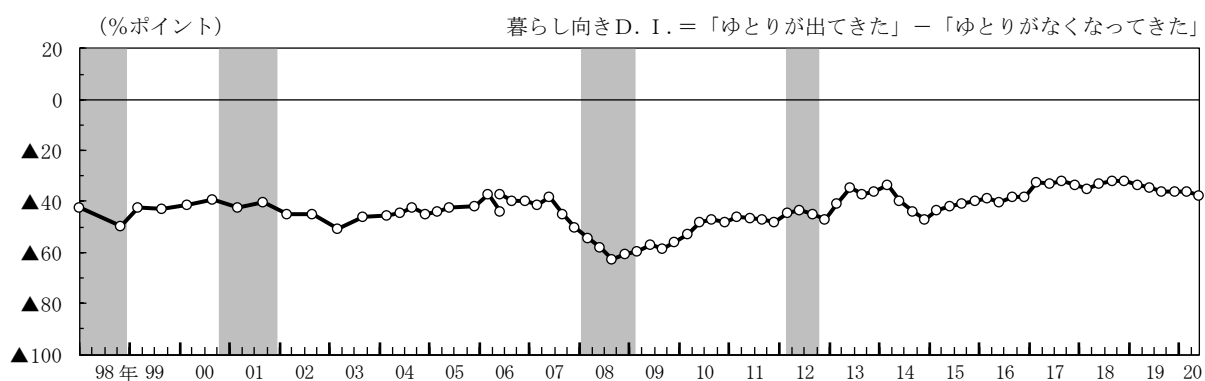
1-2-1. 現在の暮らし向き

現在の暮らし向き（1年前対比）については、「ゆとりが出てきた」との回答が減少したことから、暮らし向きD. I.は悪化した。

（図表4）現在の暮らし向き〔Q6〕



<暮らし向きD. I.の推移>



	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6
暮らし向き D. I. (前回比)	▲31.9 (+1.0)	▲33.7 (▲1.8)	▲35.3 (▲1.6)	▲33.1 (+2.2)	▲31.9 (+1.2)	▲31.7 (+0.2)	▲33.5 (▲1.8)	▲34.5 (▲1.0)	▲36.2 (▲1.7)	▲36.1 (+0.1)	▲36.1 (0.0)	▲37.6 (▲1.5)

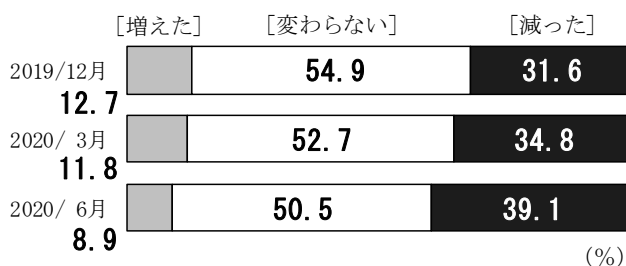
- (注) 1. 2006/6月調査までは訪問留置法、2006/9月調査からは郵送調査法（2006/6月の予備調査を含む）。
 2. 2006/6月調査までのD. I.は「どちらかと言えば、ゆとりが出てきたと思う」 - 「どちらかと言えば、苦しくなってきたと思う」。
 3. 本調査は1998/3月まで年1回、1998/11月から2004/3月までは年2回、2004/6月からは年4回実施。2005/9月は実施せず。
 4. 暮らし向きD. I.のピークは ▲31.7（2018/12月）、ボトムは ▲62.6（2008/9月）。
 5. シャドー部分は、景気後退期。

1-2-2. 収入・支出

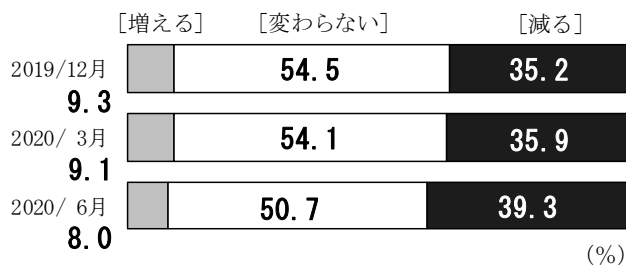
収入については、実績（1年前対比）は、「増えた」との回答が減少し、「減った」との回答が増加したことから、現在の収入D. I. はマイナス幅が拡大した。先行き（1年後）については、「増える」との回答が減少し、「減る」との回答が増加したことから、1年後の収入D. I. はマイナス幅が拡大した。

（図表5）収入〔Q7、8〕

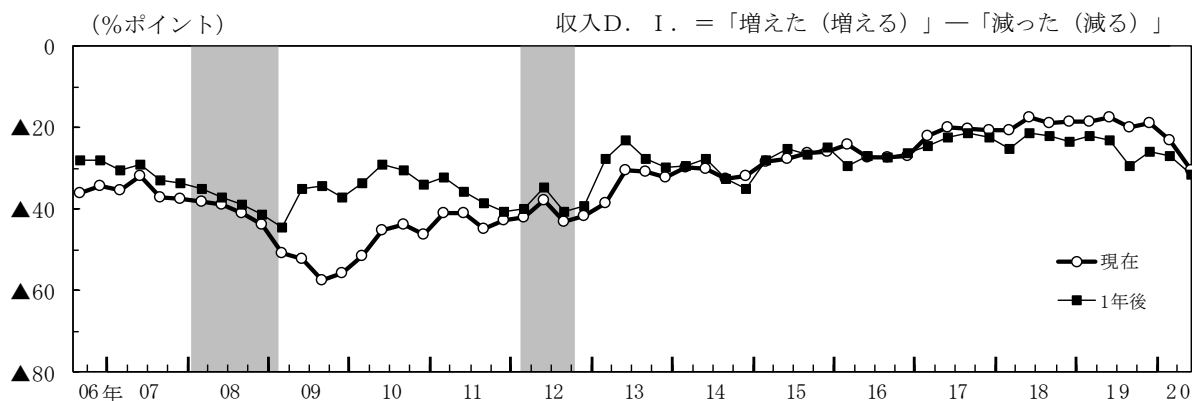
＜現在を1年前と比べると＞



＜1年後を現在と比べると＞



＜収入D. I. の推移＞



	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6
現在の収入D. I. (前回比)	▲20.2 (▲0.3)	▲20.7 (▲0.5)	▲20.7 (0.0)	▲17.3 (+3.4)	▲18.9 (▲1.6)	▲18.5 (+0.4)	▲18.6 (▲0.1)	▲17.4 (+1.2)	▲20.0 (▲2.6)	▲18.9 (+1.1)	▲23.0 (▲4.1)	▲30.2 (▲7.2)
1年後の収入D. I. (前回比)	▲21.2 (+1.0)	▲22.2 (▲1.0)	▲25.2 (▲3.0)	▲21.1 (+4.1)	▲21.8 (▲0.7)	▲23.2 (▲1.4)	▲22.0 (+1.2)	▲23.0 (▲1.0)	▲29.3 (▲6.3)	▲25.9 (+3.4)	▲26.8 (▲0.9)	▲31.3 (▲4.5)

(注) 1. 郵送調査となった2006/9月以降を掲載。

2. 現在の収入D. I. のピークは ▲17.3 (2018/6月)、ボトムは ▲57.3 (2009/9月)。

1年後の収入D. I. のピークは ▲21.1 (2018/6月)、ボトムは ▲44.3 (2009/3月)。

3. シャドー部分は、景気後退期。

支出については、実績（1年前対比）は、「増えた」との回答が減少し、「減った」との回答が増加したことから、現在の支出D. I. はプラス幅が縮小した。先行き（1年後）は、「増やす」との回答が減少し、「減らす」との回答が増加したことから、1年後の支出D. I. はマイナス幅が拡大した。

（図表6）支出〔Q9、11(1)〕

＜現在を1年前と比べると＞

	[増えた]	[変わらない]	[減った]
2019/12月	41.2	41.8	16.0
2020/3月	40.9	41.6	16.5
2020/6月	31.8	45.6	20.8

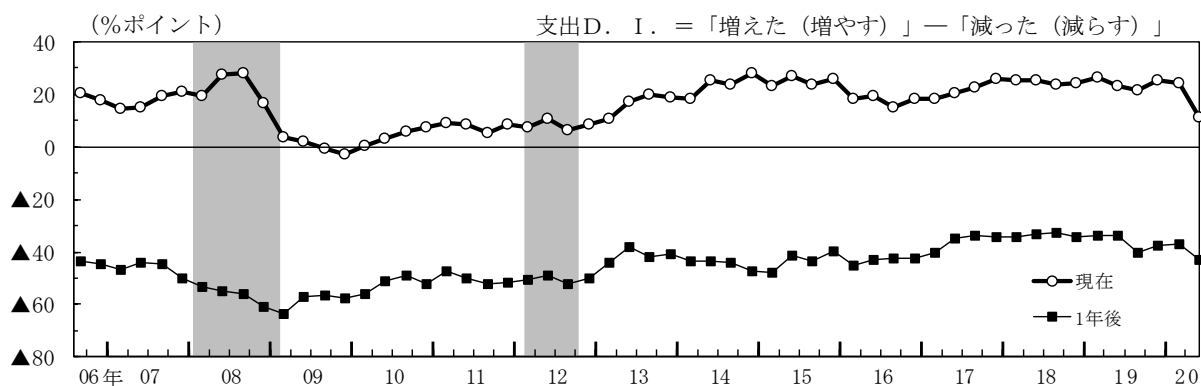
(%)

＜1年後を現在と比べると＞

	[増やす]	[変えない]	[減らす]
2019/12月	7.1	46.4	44.5
2020/3月	7.2	46.6	44.3
2020/6月	5.8	43.3	48.8

(%)

＜支出D. I. の推移＞



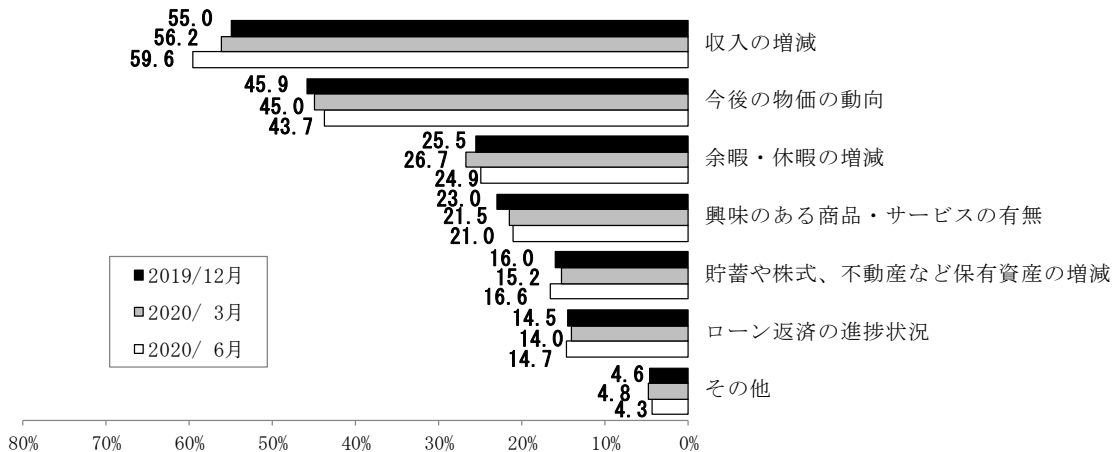
	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/3	19/6	19/9	19/12	20/3	20/6
現在の支出 D. I. (前回比)	22.8 (+2.4)	25.8 (+3.0)	25.2 (▲0.6)	25.4 (+0.2)	23.7 (▲1.7)	24.1 (+0.4)	26.4 (+2.3)	23.4 (▲3.0)	21.8 (▲1.6)	25.2 (+3.4)	24.4 (▲0.8)	11.0 (▲13.4)
1年後の支出 D. I. (前回比)	▲33.5 (+1.1)	▲34.4 (▲0.9)	▲34.2 (+0.2)	▲33.2 (+1.0)	▲32.6 (+0.6)	▲34.1 (▲1.5)	▲33.9 (+0.2)	▲33.6 (+0.3)	▲40.4 (▲6.8)	▲37.4 (+3.0)	▲37.1 (+0.3)	▲43.0 (▲5.9)

- (注) 1. 郵送調査となった2006/9月以降を掲載。
 2. 現在の支出D. I. のピークは 28.3 (2008/9月)、ボトムは ▲2.7 (2009/12月)。
 1年後の支出D. I. のピークは ▲32.6 (2018/9月)、ボトムは▲63.4 (2009/3月)。
 3. シャドー部分は、景気後退期。

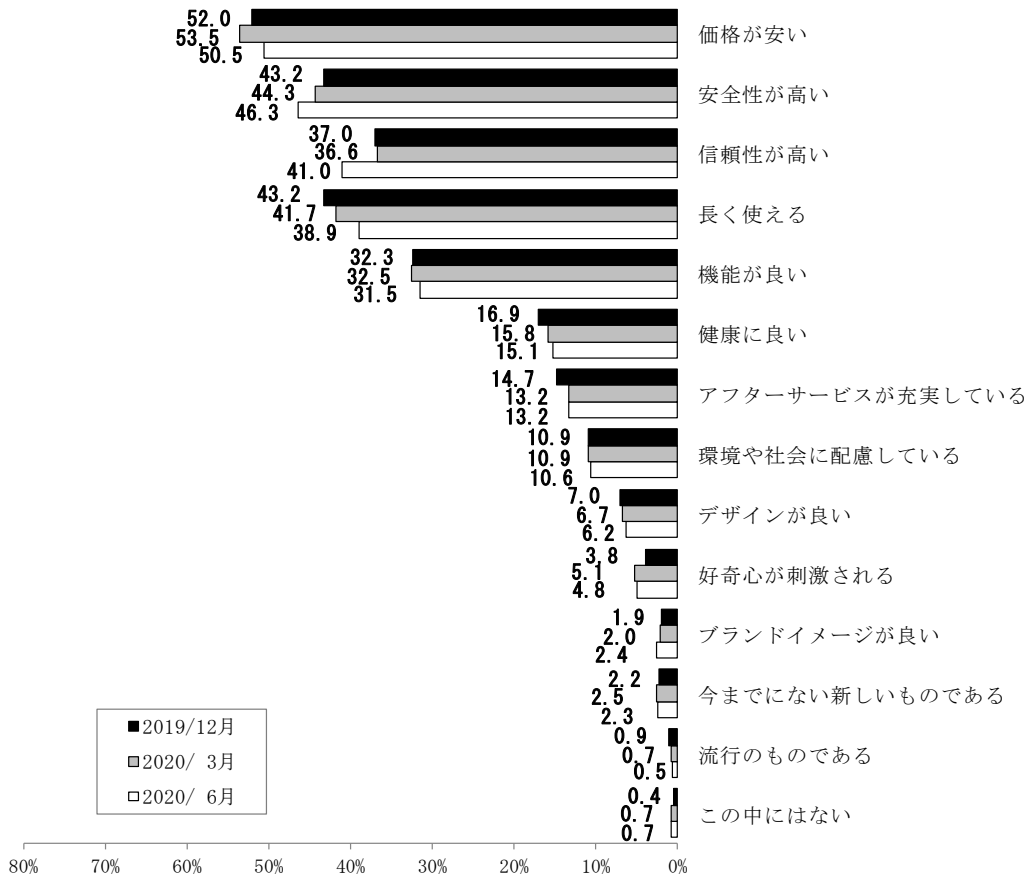
今後1年間の支出を考えるにあたって特に重視することは、「収入の増減」との回答が最も多く、次いで「今後の物価の動向」、「余暇・休暇の増減」といった回答が多かった。

商品やサービスを選ぶ際に特に重視することは、「価格が安い」との回答が最も多く、次いで「安全性が高い」、「信頼性が高い」、「長く使える」、「機能が良い」といった回答が多かった。

(図表7) 今後1年間の支出を考えるにあたって特に重視すること (複数回答) [Q11(2)]



(図表8) 今後1年間、商品やサービスを選ぶ際に特に重視すること (3つまでの複数回答) [Q11(3)]



1-2-3. 雇用環境

1年後を見た勤労者^(注)の勤め先での雇用・処遇の不安については、「あまり感じない」との回答が増加したことから、雇用環境D. I. は改善した。

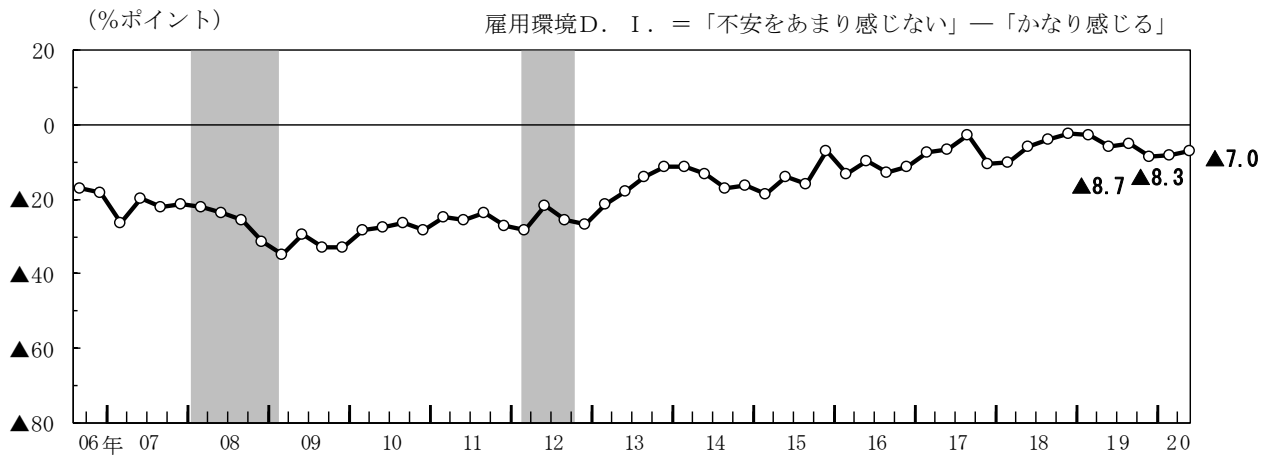
(注) 勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）およびパート・アルバイトなど。

(図表9) 1年後を見た勤め先での雇用・処遇についての不安（勤労者）
〔Q20のうち勤労者〕

	[あまり感じない]	[少し感じる]	[かなり感じる]
2019/12月	21.6	47.7	30.3
2020/3月	21.3	48.7	29.6
2020/6月	22.6	46.7	29.6

(%)

<雇用環境D. I. の推移>



- (注) 1. 郵送調査となった2006/9月以降を掲載。
2. 雇用環境D. I. のピークは ▲2.3 (2018/12月)、ボトムは ▲34.7 (2009/3月)。
3. シャド一部分は、景気後退期。

1-3. 物価に対する実感

1-3-1. 現在の物価

現在の物価^(注1、2)に対する実感(1年前対比)は、『上がった』^(注3)と回答した人の割合が6割前半となった。

1年前に比べ、物価は何%程度変化したかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値は+4.8%(前回:+4.0%)、中央値は+3.0%(前回:+2.0%)となった。

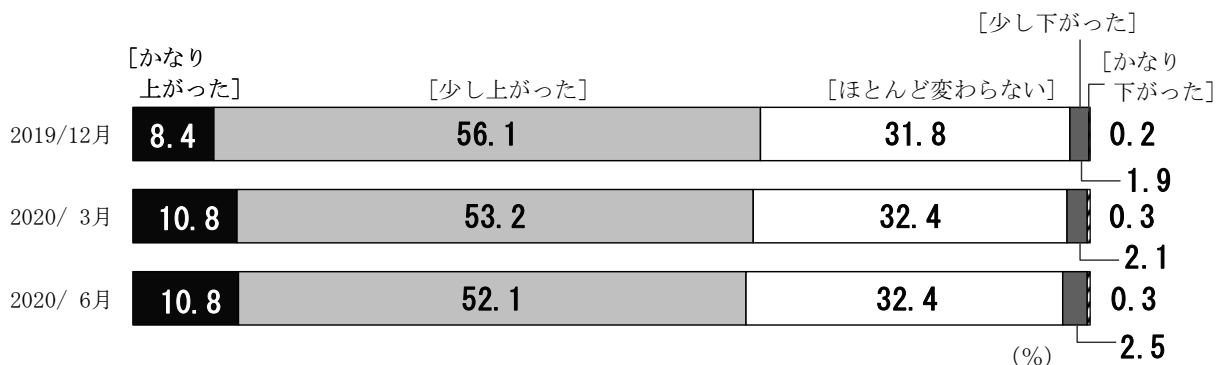
(注1)「あなたが購入する物やサービスの価格全体」と定義。

(注2)消費税率引上げの影響を除くベース。

(注3)『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。

(図表10) 現在の物価に対する実感 [Q12、13]

<現在を1年前と比べると>



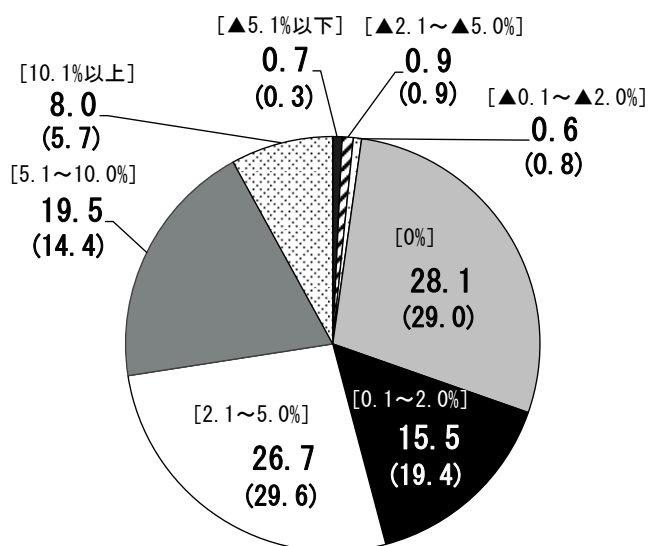
<1年前に比べ現在の物価は何%程度変化したと思うか>

	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
19/12月	+4.1%	+3.0%
20/3月	+4.0%	+2.0%
20/6月	+4.8%	+3.0%

(注) 1. 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 なお、全サンプルの単純平均値は、+4.9%
 (前回調査<2020/3月実施>:+4.2%)。

2. 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

<今回調査の回答の分布> (百分比) ()内は前回調査(2020/3月実施)の結果



1-3-2. 1年後の物価

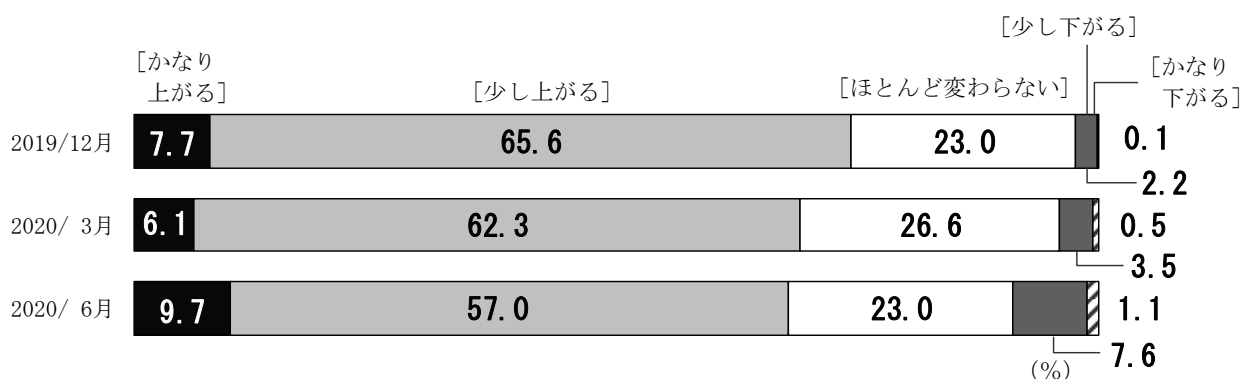
1年後の物価については、『上がる』^(注)と回答した人の割合が6割台後半となった。

1年後の物価は現在と比べ何%程度変化すると思うかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値は+4.3%（前回：+3.4%）、中央値は+3.0%（前回：+2.0%）となった。

（注）『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。

（図表11）1年後の物価に対する見方〔Q14、15〕

<1年後を現在と比べると>



<1年後の物価は現在と比べ何%程度変化すると思うか>

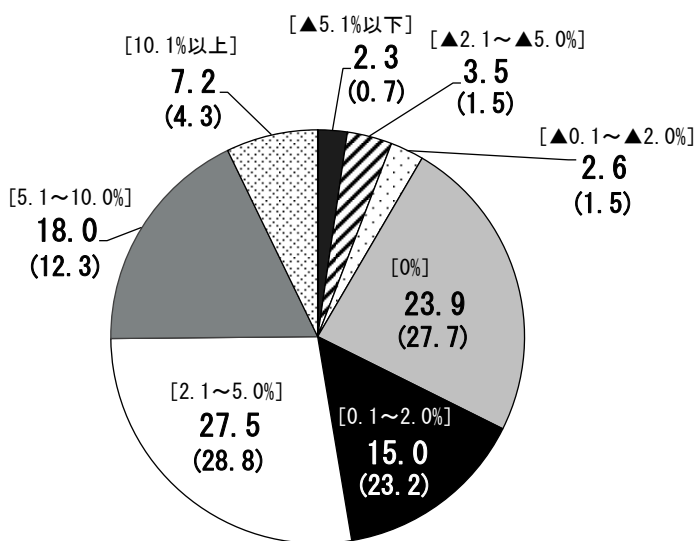
	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
19/12月	+3.8%	+2.5%
20/3月	+3.4%	+2.0%
20/6月	+4.3%	+3.0%

（注）1. 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 なお、全サンプルの単純平均値は、+4.4%（前回調査<2020/3月実施>：+3.5%）。

2. 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

<今回調査の回答の分布>（百分比）

（ ）内は前回調査（2020/3月実施）の結果



1-3-3. 5年後の物価

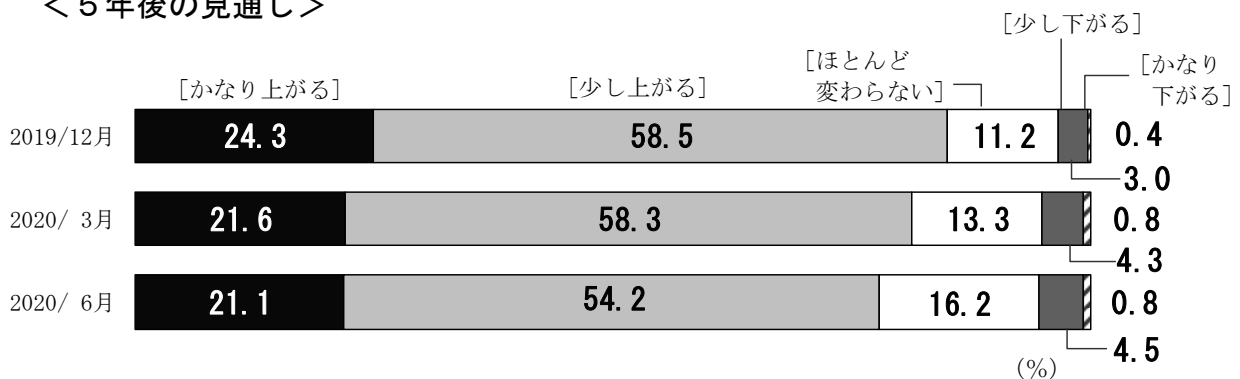
5年後の物価については、『上がる』^(注)と回答した人の割合が7割台半ばとなった。

これから5年間で物価は現在と比べ毎年、平均何%程度変化すると思うかについて、具体的な数値による回答を求めたところ、平均値は+4.0%（前回：+3.7%）、中央値は+2.0%（前回：+2.0%）となった。

(注)『上がる』は「かなり上がる」と「少し上がる」の合計。

(図表12) 5年後の物価に対する見方 [Q16、17]

<5年後の見通し>



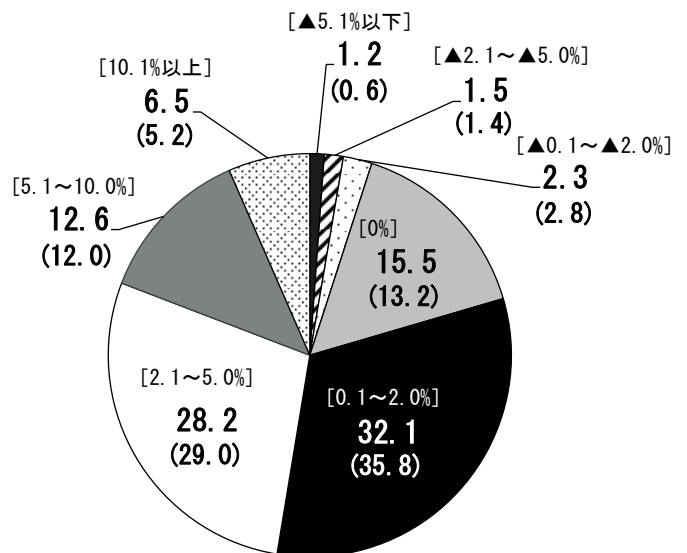
<5年後の物価は現在と比べ毎年、平均何%程度変化すると思うか>

	平均値 ^(注1)	中央値 ^(注2)
19/12月	+3.8%	+2.0%
20/3月	+3.7%	+2.0%
20/6月	+4.0%	+2.0%

(注) 1. 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
 なお、全サンプルの単純平均値は、+4.1%
 (前回調査<2020/3月実施>：+3.9%)。

2. 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

<今回調査の回答の分布> (百分比) ()内は前回調査(2020/3月実施)の結果

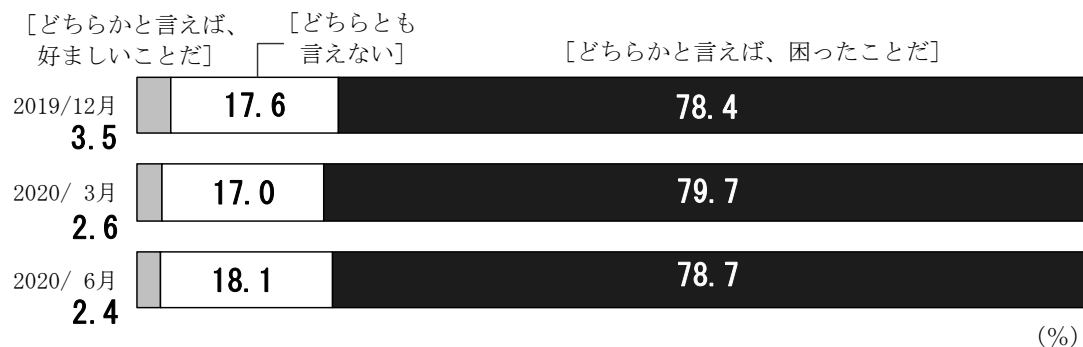


1-3-4. 物価上昇についての感想

1年前と比べて物価が『上がった』^(注)と答えた人（6割台前半）に、その感想を聞くと、7割台後半の人が「どちらかと言えば、困ったことだ」と回答した。

(注)『上がった』は「かなり上がった」と「少し上がった」の合計。

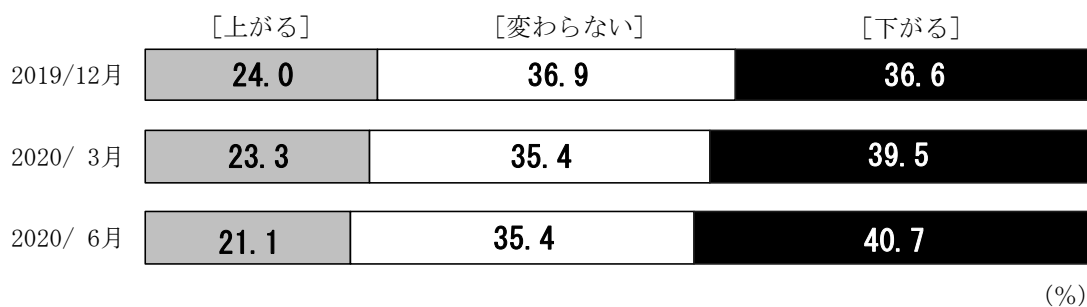
(図表 1 3) 物価上昇についての感想 [Q12-a]



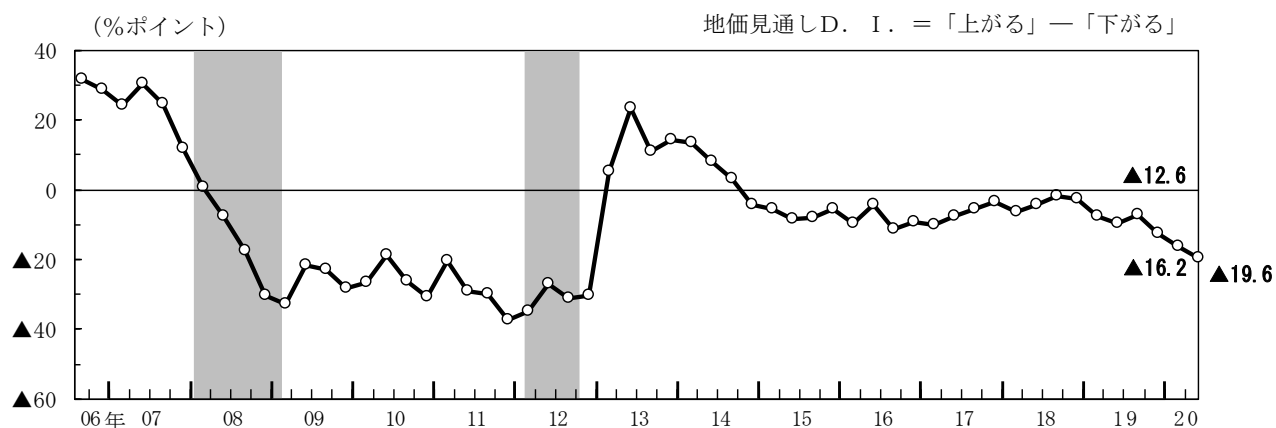
1-4. 先行きの地価動向

先行きの地価については、「上がる」との回答が減少し、「下がる」との回答が増加したことから、地価見通しD. I. はマイナス幅が拡大した。

(図表 1 4) 先行きの地価動向に対する見方 [Q18]



<地価見通しD. I. の推移>

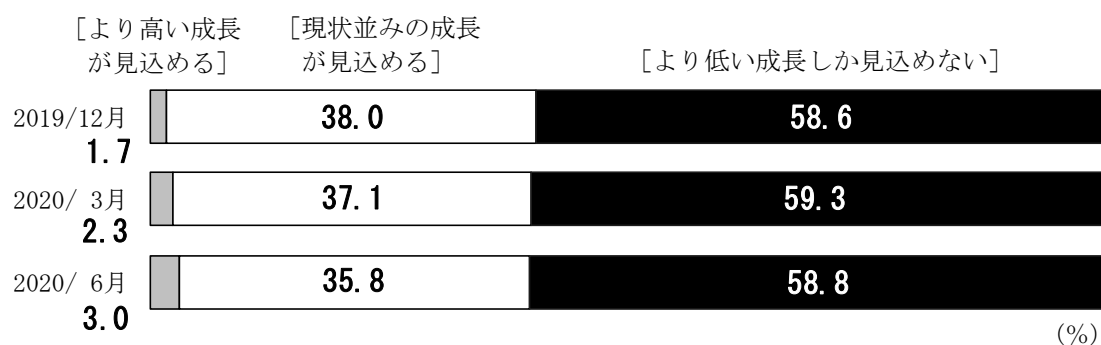


- (注) 1. 本設問は2006/9月から実施。
 2. 地価見通しD. I. のピークは 31.9 (2006/9月)、ボトムは ▲37.5 (2011/12月)。
 3. シャド一部分は、景気後退期。

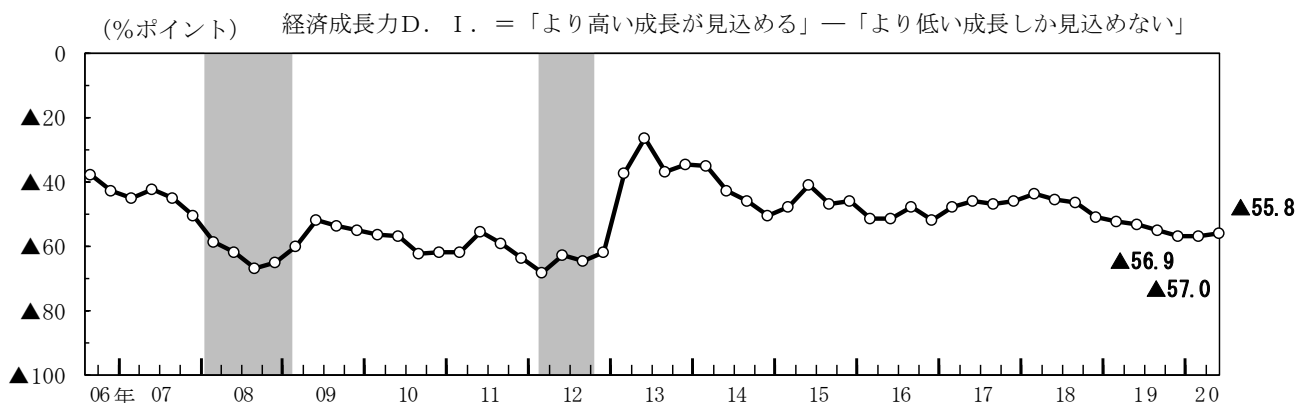
1-5. 日本経済の成長力

日本経済の成長力については、「より高い成長が見込める」との回答が増加し、「より低い成長しか見込めない」との回答が減少したことから、経済成長力D.I. はマイナス幅が縮小した。

(図表 15) 日本経済の成長力に対する見方 [Q19]



<経済成長力D.I.の推移>



- (注) 1. 本設問は2006/9月から実施。
 2. 経済成長力D.I.のピークは ▲26.7 (2013/6月)、ボトムは ▲68.3 (2012/3月)。
 3. シャドー部分は、景気後退期。

1-6. 日本銀行に関する認知度・信頼度等

(注) 原則6月・12月調査において実施。ただし2011年6月は実施していない。

1-6-1. 日本銀行の目的

日本銀行が「物価の安定」を目的としていることについては、「知っている」との回答が2割台後半となった。また、日本銀行が、消費者物価の前年比上昇率2%の「物価安定の目標」を掲げていることについては、「知っている」との回答が約2割となった。

日本銀行が、積極的な金融緩和を行っていることについては、「知っている」との回答が3割台半ばとなった。また、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を行っていることについては、「知っている」との回答が約2割となった。

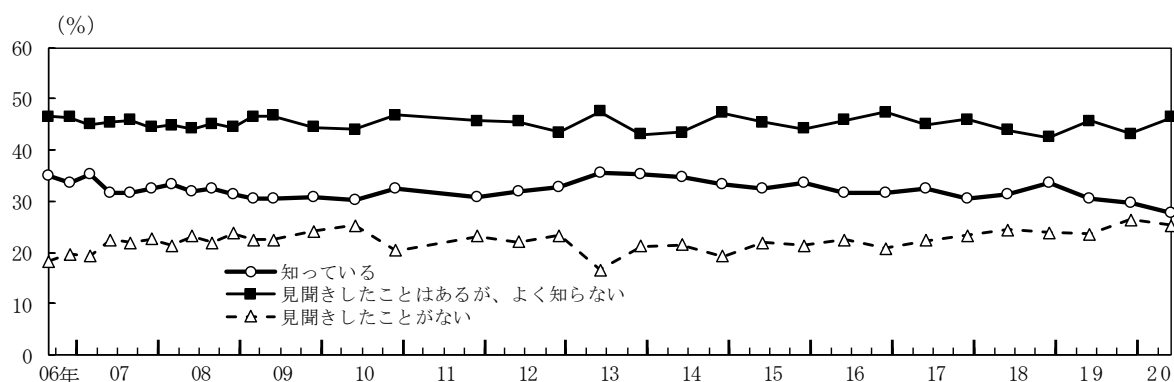
日本銀行が、「金融システムの安定」を図ることを目的としていることについては、「知っている」との回答が2割台後半となった。

(図表16) 日本銀行の目的「物価の安定」に関する認知度

(1) 日本銀行は、「物価の安定」をその目的の一つとしている〔Q21(1)〕

	[知っている]	[見聞きしたことはあるが、よく知らない]	[見聞きしたことがない]
2019/ 6月	30.5	45.7	23.6
2019/12月	29.6	43.2	26.4
2020/ 6月	27.8	46.4	25.2

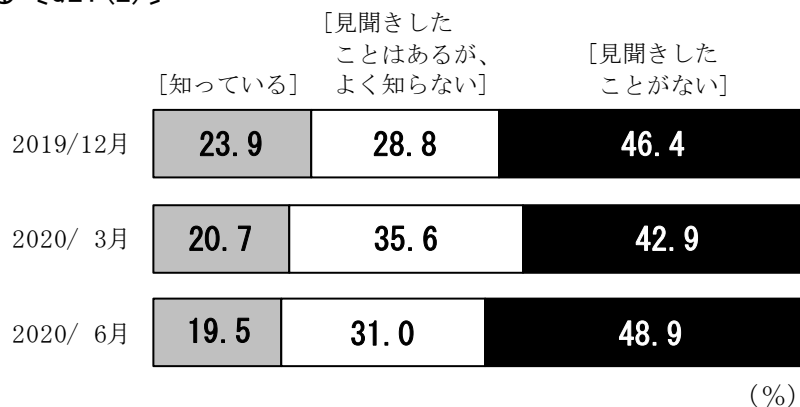
(%)



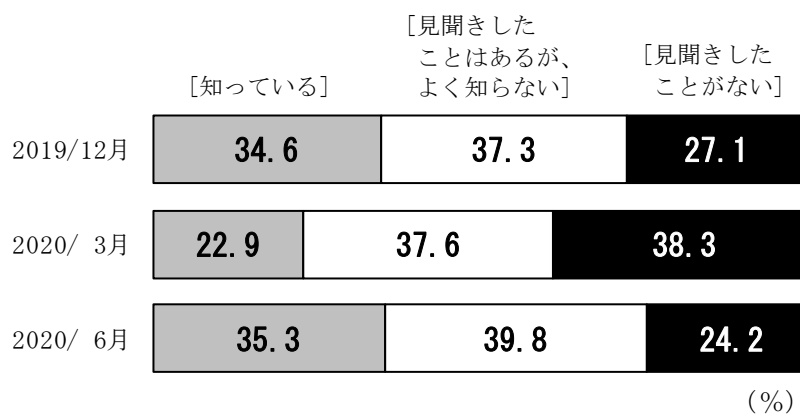
(注) 1. 郵送調査となった2006/9月以降を掲載。

2. 2009/6月までは年4回、それ以降は年2回実施。2011/6月は実施せず。

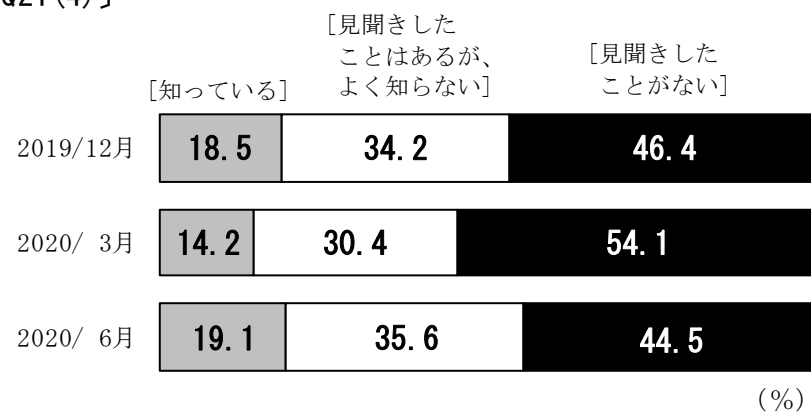
(2) 日本銀行が、消費者物価の前年比上昇率2%の「物価安定の目標」を掲げている〔Q21(2)〕



(3) 上記目標実現のため、日本銀行が積極的な金融緩和を行っている〔Q21(3)〕



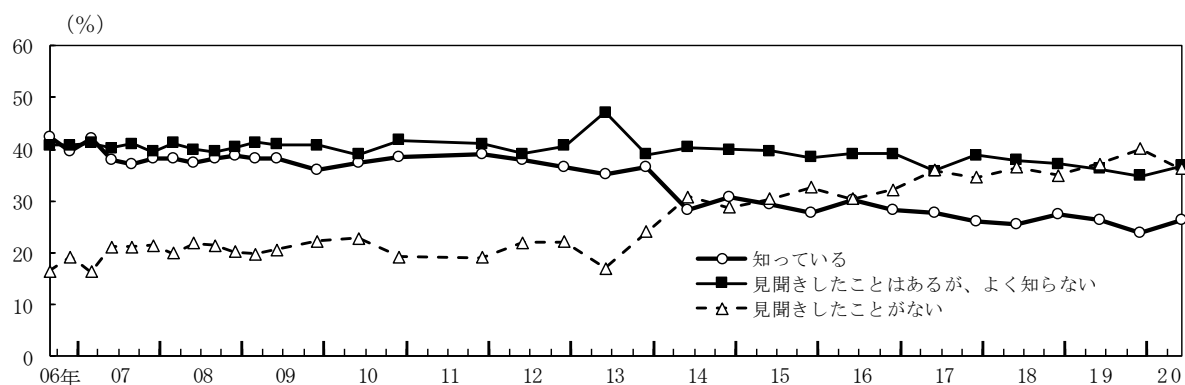
(4) 具体的には、現在、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を行っている〔Q21(4)〕



(図表 17) 日本銀行の目的「金融システムの安定」に関する認知度〔Q22〕

	[知っている]	[見聞きした ことはあるが、 よく知らない]	[見聞きした ことがない]
2019/ 6月	26.4	36.2	37.2
2019/12月	23.9	34.9	40.1
2020/ 6月	26.4	36.8	36.2

(%)



(注) 1. 郵送調査となった2006/9月以降を掲載。
2. 2009/6月までは年4回、それ以降は年2回実施。2011/6月は実施せず。

1-6-2. 日本銀行に対する関心や認知度、評価

日本銀行に対する関心や認知度等について尋ねたところ、『日本銀行の活動に日頃から関心がある』^(注1)と回答した人の割合は2割前半、『日本銀行は私たちの生活に関係がある』^(注2)と回答した人の割合は7割前半、『日本銀行は私たちの生活に役立っている』^(注3)と回答した人の割合は約5割となった。

(注1) 『関心がある』は「関心がある」と「どちらかと言えば、関心がある」の合計。

(注2) 『関係がある』は「関係がある」と「どちらかと言えば、関係がある」の合計。

(注3) 『役立っている』は「役立っている」と「どちらかと言えば、役立っている」の合計。

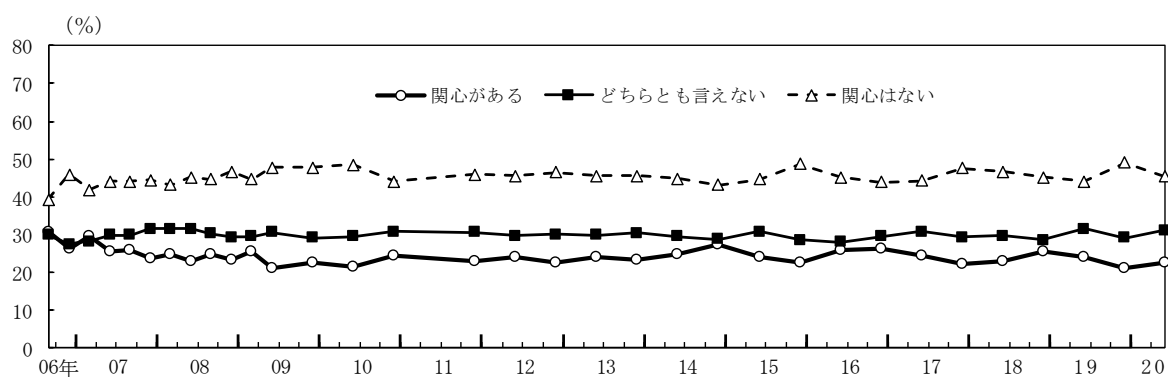
(図表18) 日本銀行に対する関心や認知度、評価

(1) 日本銀行の活動に日頃から関心がある〔Q23(1)〕

	『関心がある』	「どちらとも言えない」	『関心はない』
2019/ 6月	24.2	31.5	44.0
2019/12月	21.0	29.1	49.0
2020/ 6月	22.7	31.1	45.3

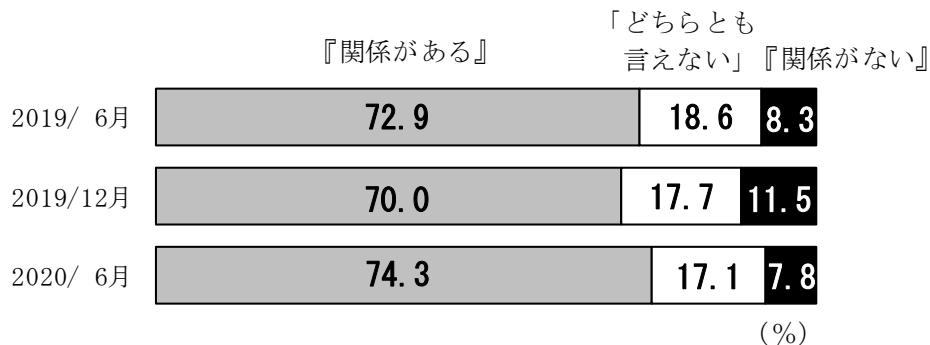
(%)

(注) 1. 『関心がある』は「関心がある」と「どちらかと言えば、関心がある」の合計。
2. 『関心はない』は「関心はない」と「どちらかと言えば、関心はない」の合計。

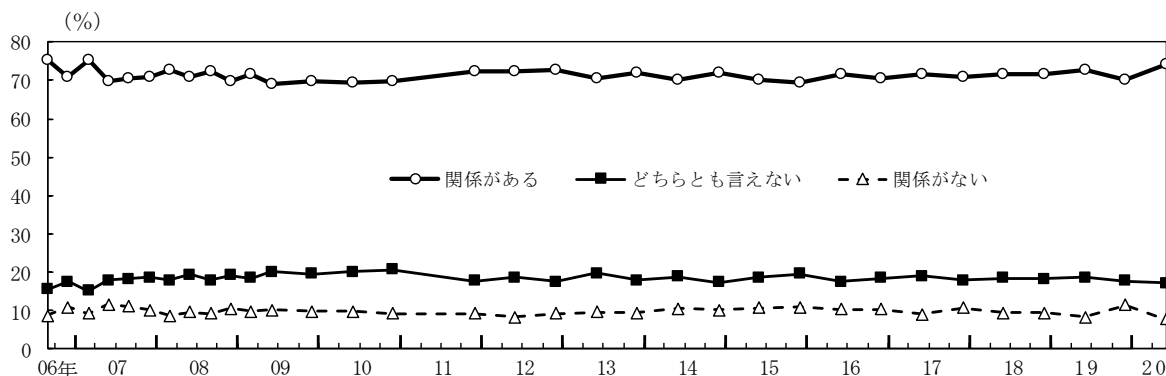


(注) 1. 郵送調査となった2006/9月以降を掲載。
2. 2009/6月までは年4回、それ以降は年2回実施。2011/6月は実施せず。

(2) 日本銀行は私たちの生活に関係がある〔Q23(2)〕

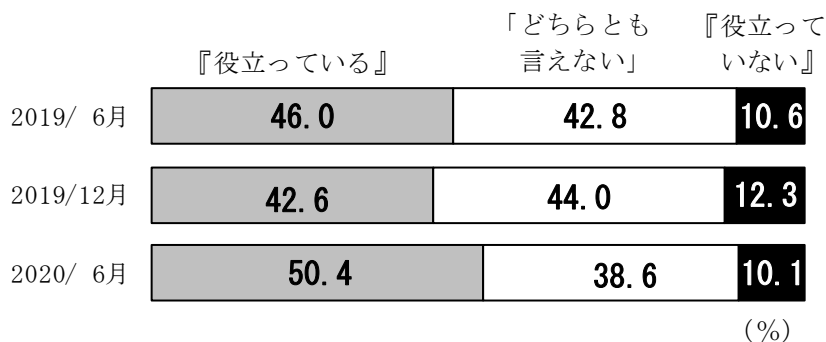


(注) 1. 『関係がある』は「関係がある」と「どちらかと言えば、関係がある」の合計。
2. 『関係がない』は「関係がない」と「どちらかと言えば、関係がない」の合計。

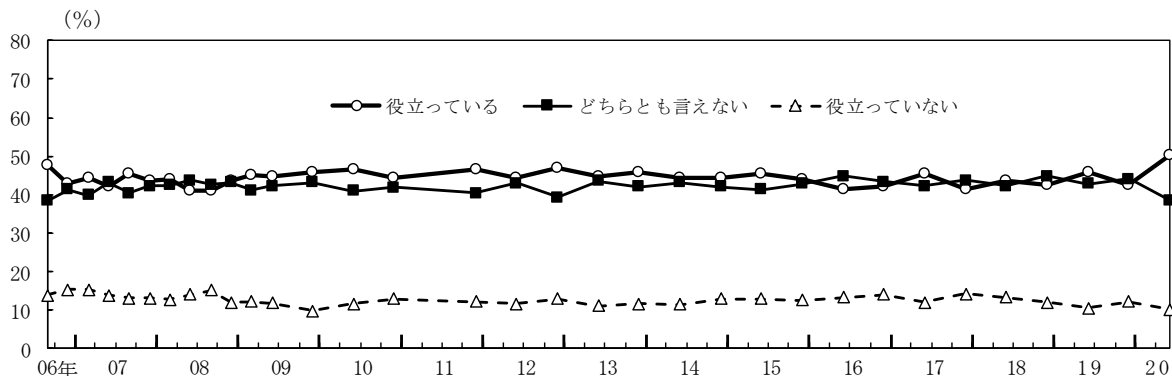


(注) 1. 郵送調査となった2006/9月以降を掲載。
2. 2009/6月までは年4回、それ以降は年2回実施。2011/6月は実施せず。

(3) 日本銀行は私たちの生活に役立っている〔Q23(3)〕



(注) 1. 『役立っている』は「役立っている」と「どちらかと言えば、役立っている」の合計。
2. 『役立っていない』は「役立っていない」と「どちらかと言えば、役立っていない」の合計。



(注) 1. 郵送調査となった2006/9月以降を掲載。
2. 2009/6月までは年4回、それ以降は年2回実施。2011/6月は実施せず。

1-6-3. 日本銀行の外部に対する説明への評価

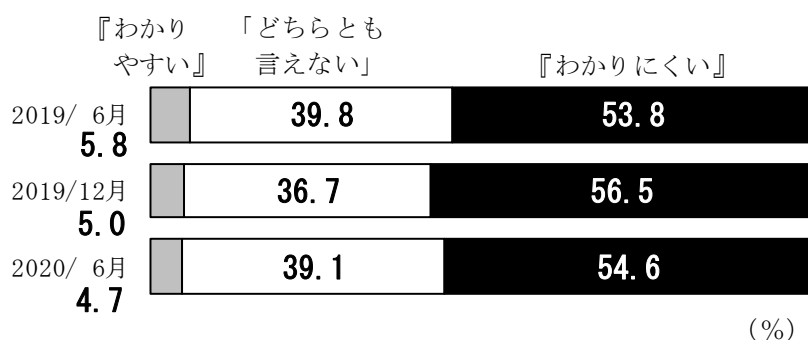
日本銀行の外部に対する説明への評価について尋ねたところ、『わかりにくい』^(注)と回答した人の割合は5割台半ばとなった。

また、『わかりにくい』と回答した人にその理由を尋ねたところ、「日本銀行について基本的知識がない」との回答が最も多く、次いで「日本銀行の説明や言葉が専門的で難しい」、「金融や経済の仕組み自体がわかりにくい」といった回答が多かった。

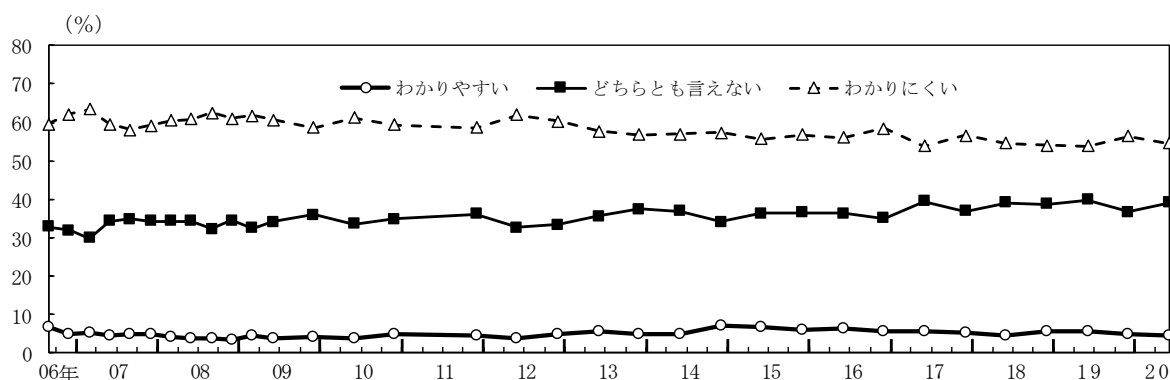
(注) 『わかりにくい』は「わかりにくい」と「どちらかと言えば、わかりにくい」の合計。

(図表 19) 日本銀行の外部に対する説明への評価

(1) 日本銀行の外部に対する説明はわかりやすい [Q23(4)]

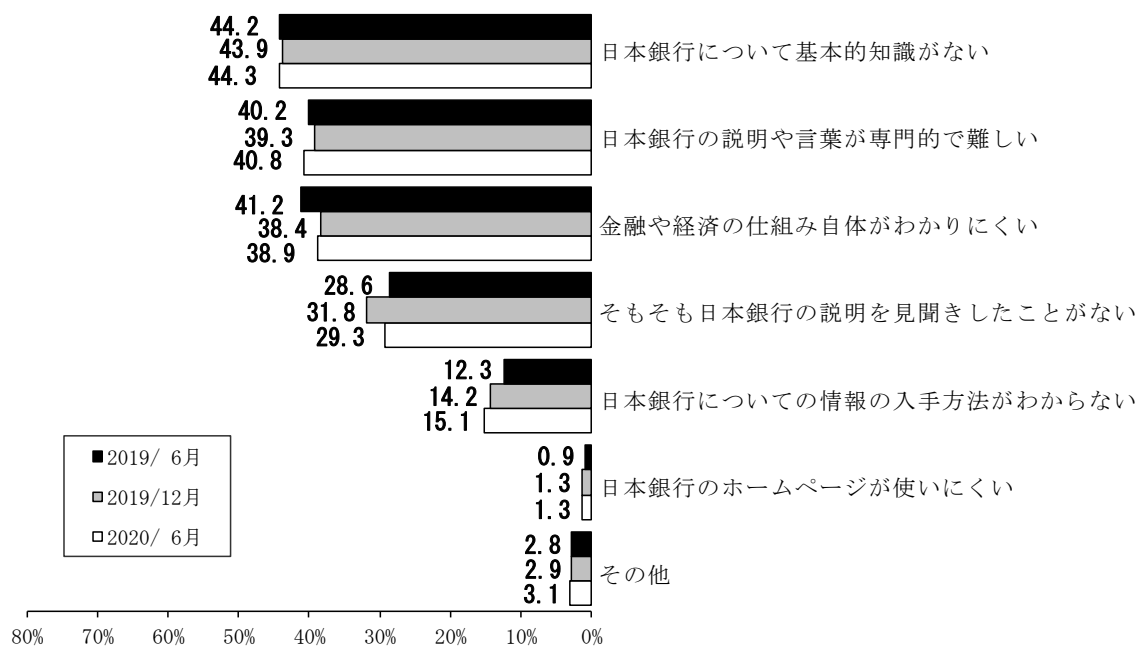


(注) 1. 『わかりやすい』は「わかりやすい」と「どちらかと言えば、わかりやすい」の合計。
2. 『わかりにくい』は「わかりにくい」と「どちらかと言えば、わかりにくい」の合計。



(注) 1. 郵送調査となった2006/9月以降を掲載。
2. 2009/6月までは年4回、それ以降は年2回実施。2011/6月は実施せず。

(2) 日本銀行の説明がわかりにくい理由（2つまでの複数回答）〔Q23-a〕



1-6-4. 日本銀行への信頼度

日本銀行への信頼度を尋ねたところ、『信頼している』^(注1)と回答した人の割合は4割前半となり、『信頼していない』^(注2)と回答した人の割合は1割弱となった。

『信頼している』との回答の理由としては、「日本銀行の活動が物価や金融システムの安定に役立っていると思うから」との回答が最も多かった。

『信頼していない』との回答の理由としては、「中立の立場で政策が行われていると思わないから」との回答が最も多かった。

(注1) 『信頼している』は「信頼している」と「どちらかと言えば、信頼している」の合計。

(注2) 『信頼していない』は「信頼していない」と「どちらかと言えば、信頼していない」の合計。

(図表20) 日本銀行への信頼度

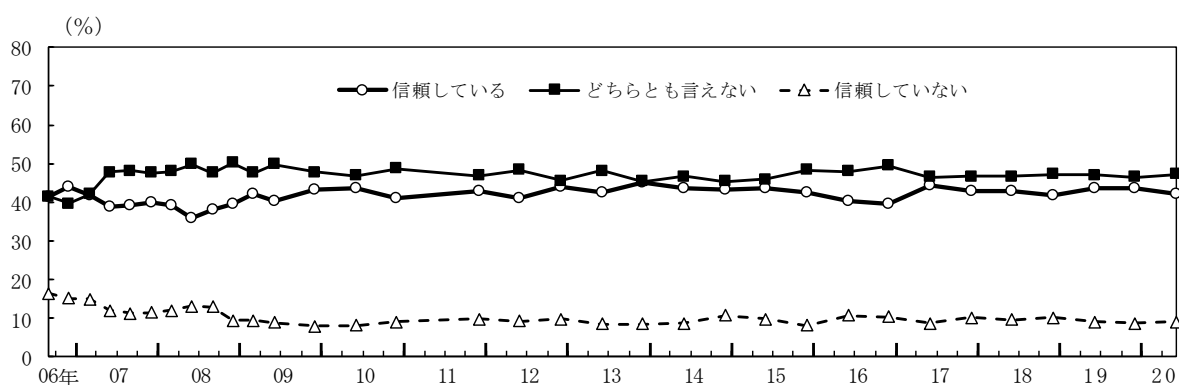
(1) 日本銀行を信頼している〔Q23(5)〕

	『信頼している』	「どちらとも言えない」	『信頼していない』
2019/ 6月	43.5	47.0	9.0
2019/12月	43.5	46.4	8.7
2020/ 6月	42.2	47.3	9.0

(%)

(注) 1. 『信頼している』は「信頼している」と「どちらかと言えば、信頼している」の合計。

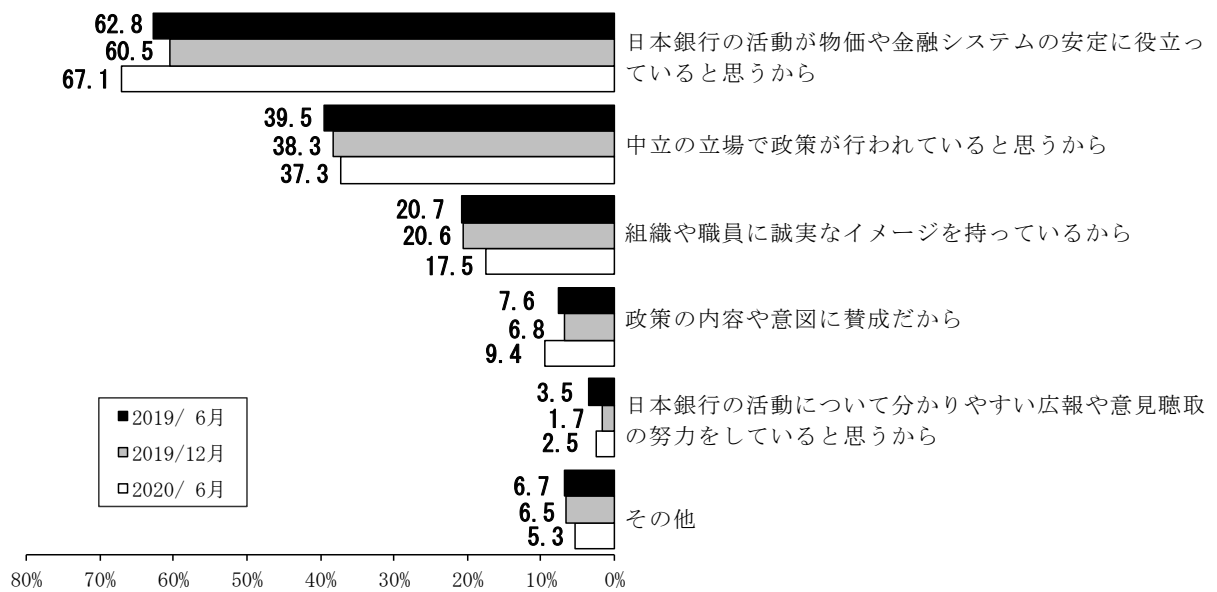
2. 『信頼していない』は「信頼していない」と「どちらかと言えば、信頼していない」の合計。



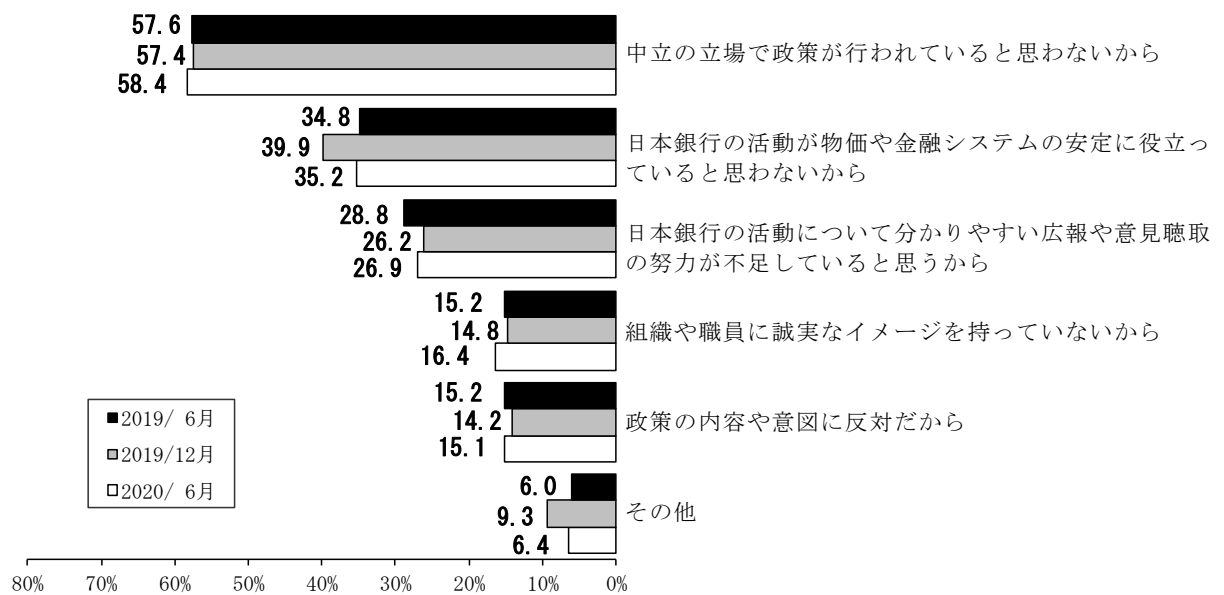
(注) 1. 郵送調査となった2006/9月以降を掲載。

2. 2009/6月までは年4回、それ以降は年2回実施。2011/6月は実施せず。

(2) 日本銀行を信頼している理由（2つまでの複数回答）〔Q23-b〕



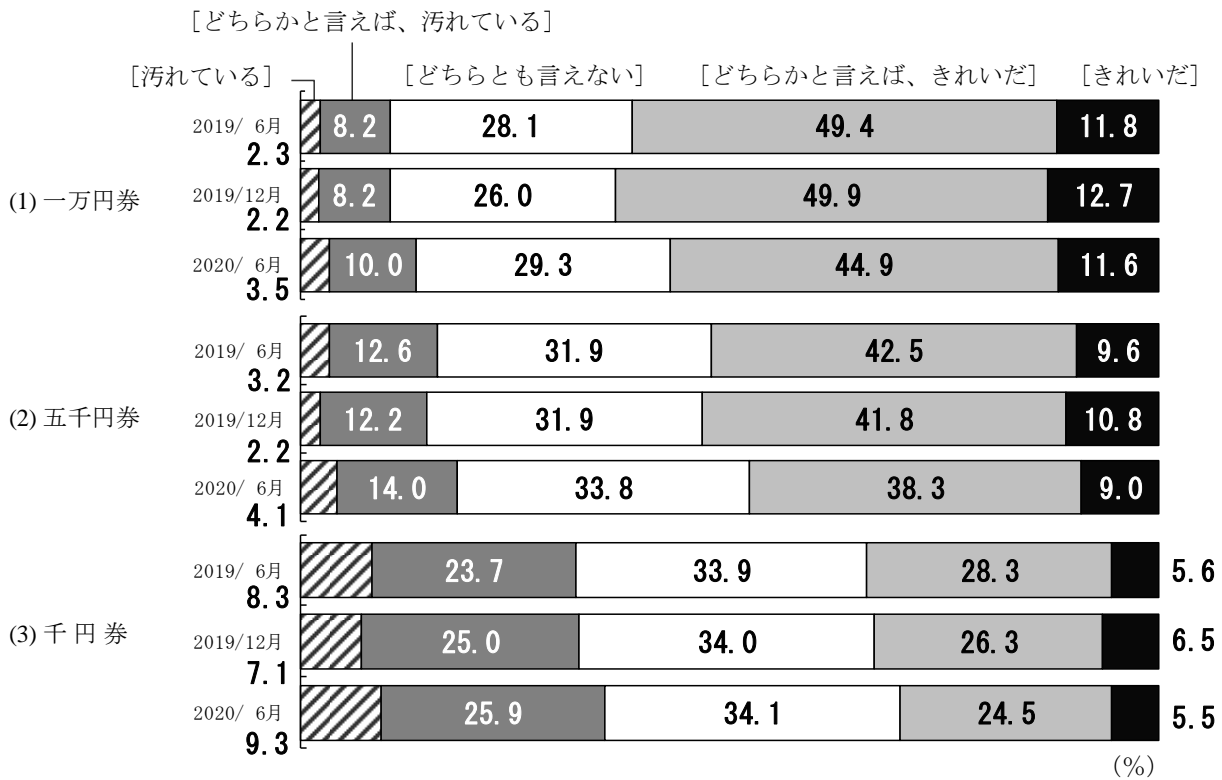
(3) 日本銀行を信頼していない理由（2つまでの複数回答）〔Q23-c〕



1-6-5. 銀行券（紙幣）の汚れ具合（クリーン度）

日常生活で使っている銀行券の汚れ具合（クリーン度）について尋ねたところ、引き続き低額券に比べ高額券のクリーン度が高いとの評価となった。

（図表 2 1）銀行券（紙幣）のクリーン度〔Q24〕



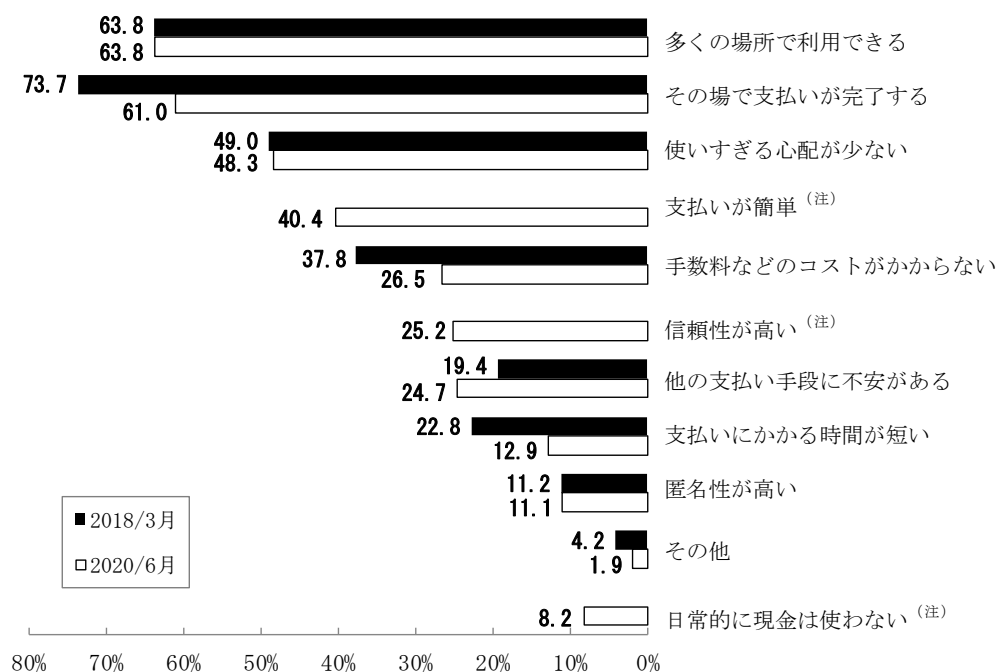
1-7. 家計の決済行動

1-7-1. 日常生活の支払いに現金を使う理由

日常生活の支払いに現金を使う理由については、「多くの場所で利用できる」との回答が最も多く、次いで「その場で支払いが完了する」、「使いすぎる心配が少ない」、「支払いが簡単」といった回答が多かった。

* Q25は第73回（2018年3月調査）において同様の質問を実施。

（図表 2 2）日常生活の支払いに現金を使う理由（複数回答）〔Q25*〕



(注) 2018年3月調査では未設定。

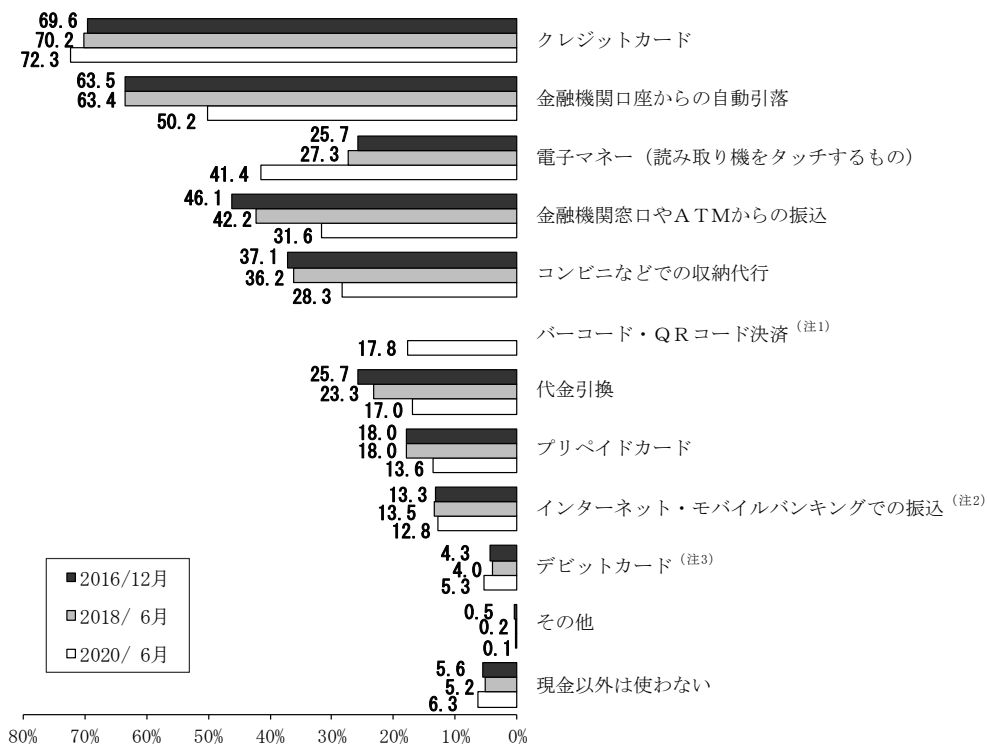
1-7-2. 現金以外の決済手段の利用状況

現金以外の決済手段については、「クレジットカード」との回答が最も多く、次いで「金融機関口座からの自動引落」、「電子マネー（読み取り機をタッチするもの）」、「金融機関窓口やATMからの振込」といった回答が多かった。

また、現金以外の決済手段を利用する理由としては、「ポイントや割引などの便益がある」との回答が最も多く、次いで「支払いが簡単」、「現金を預金などから引き出す手間が省ける」といった回答が多かった。

* Q26は第68回（2016年12月調査）、第74回（2018年6月調査）において同様の質問を実施。

（図表 2 3）現金以外の決済手段の利用状況（複数回答）〔Q26*〕

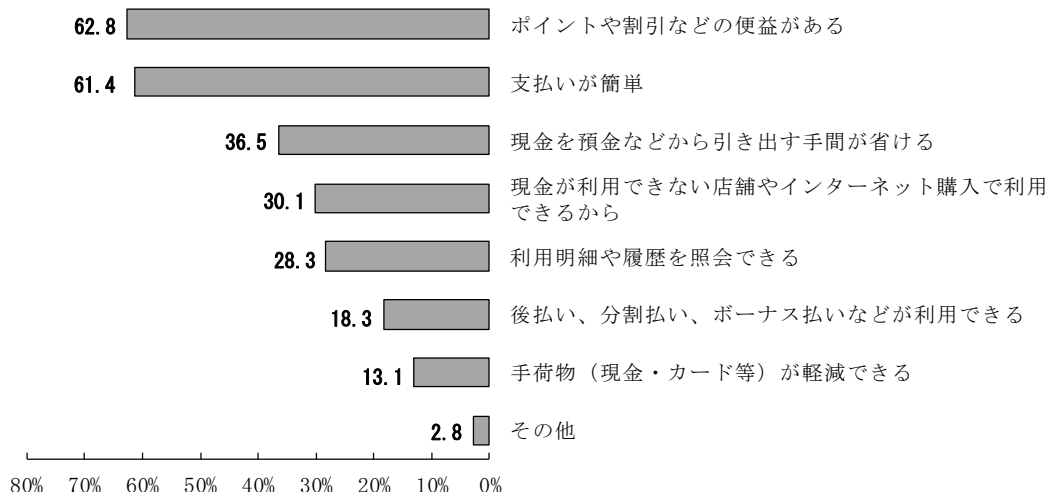


（注1）2016年12月調査、2018年6月調査では未設定。

（注2）パソコンや携帯電話・スマートフォン（含むアプリ）を用いて受けられる銀行の振込サービス。

（注3）買い物等の際、銀行で発行されたカードを提示して支払うと、預金口座から支払代金がすぐに引き落とされる仕組み。

（図表 2 4）現金以外の決済手段を利用する理由（複数回答）〔Q26-a〕

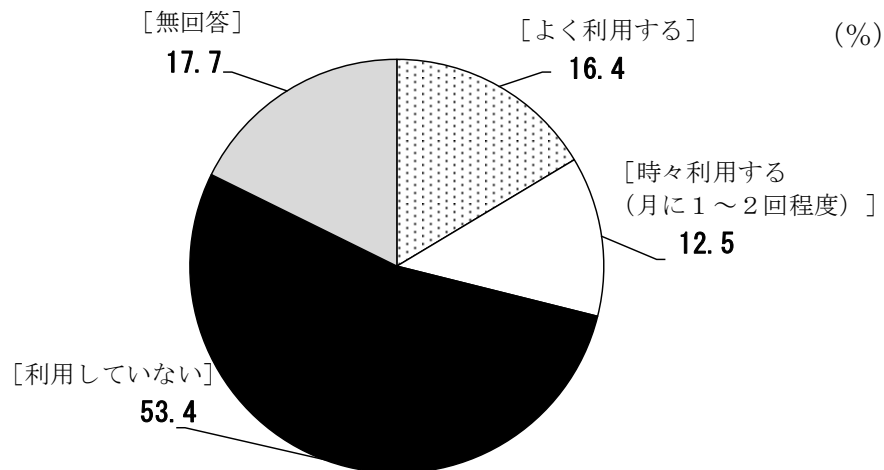


1-7-3. スマートフォンによる電子マネーやバーコード・QRコード決済の利用状況

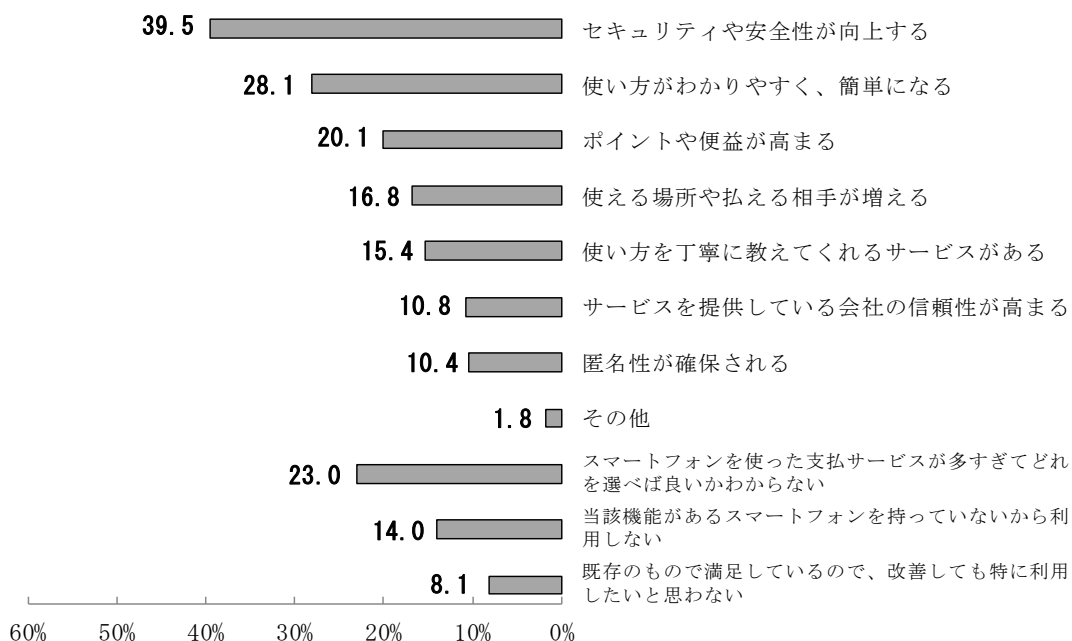
スマートフォンによる電子マネーやバーコード・QRコード決済を「よく利用する」との回答は1割台後半となった。

また、「時々利用する（月に1～2回程度）」または「利用していない」と答えた人（6割台半ば）に、どのように改善したら利用したい、または、もっと利用したいと思うかを尋ねたところ、「セキュリティや安全性が向上する」との回答が最も多く、次いで「使い方がわかりやすく、簡単になる」、「ポイントや便益が高まる」といった回答が多かった。

(図表25) スマートフォンによる電子マネーやバーコード・QRコード決済の利用状況〔Q27〕



(図表26) スマートフォンによる電子マネーやバーコード・QRコード決済の利用開始・拡大のために改善を希望すること（複数回答）〔Q27-a〕



1-7-4. インターネット・モバイルバンキングでの振込の利用状況

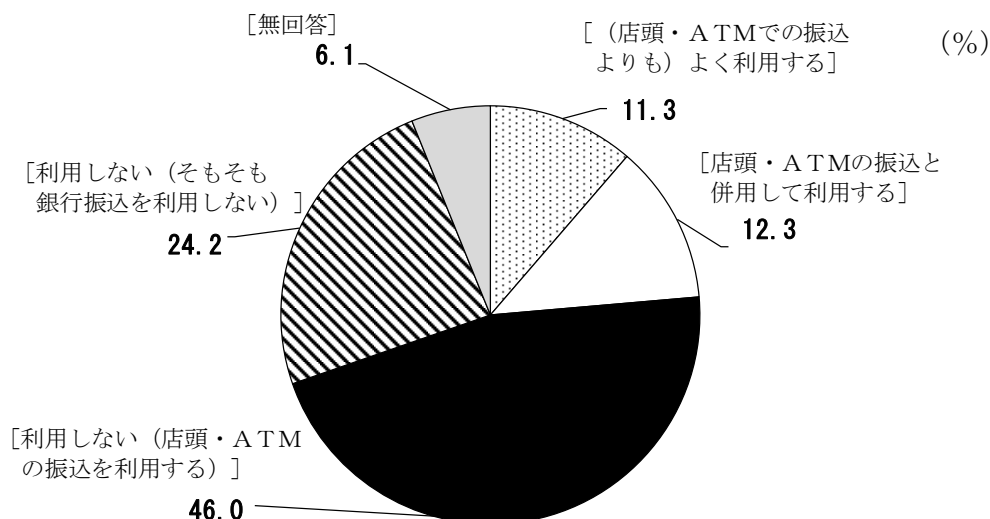
インターネット・モバイルバンキングでの振込を『利用する』^(注1)との回答は2割台前半となった。一方、『利用しない』^(注2)との回答は約7割となった。

また、同振込について、どのように改善したら利用を開始したい、または、もっと利用したいと思うかを尋ねたところ、「セキュリティや安全性が向上する」との回答が最も多く、次いで「使い方がわかりやすく、簡単になる」、「振込手数料が下がる」といった回答が多かった。

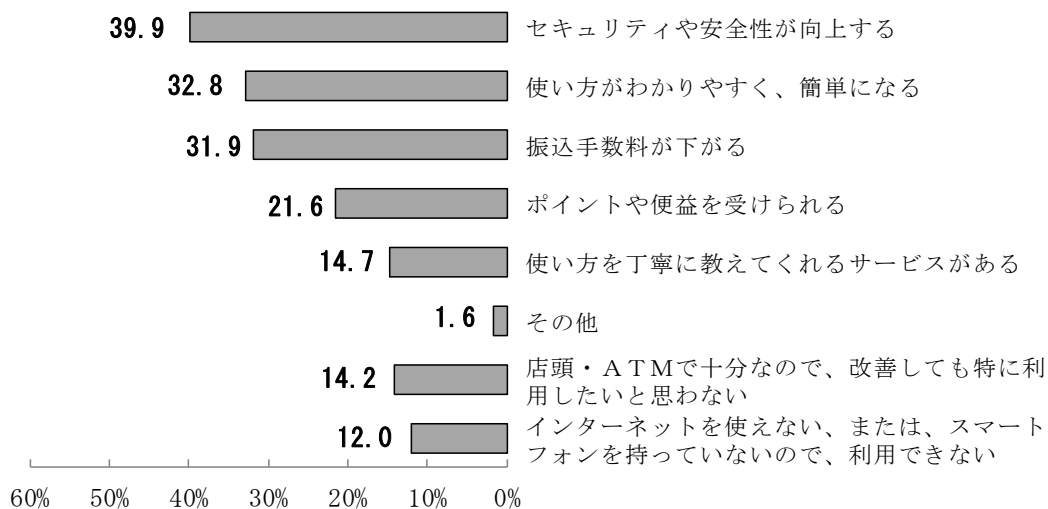
(注1) 『利用する』は「(店頭・ATMでの振込よりも)よく利用する」と「店頭・ATMの振込と併用して利用する」の合計。

(注2) 『利用しない』は「利用しない(店頭・ATMの振込を利用する)」と「利用しない(そもそも銀行振込を利用しない)」の合計。

(図表27) インターネット・モバイルバンキングでの振込の利用状況 [Q28]



(図表28) インターネット・モバイルバンキングでの振込の利用開始・拡大のために改善を希望すること(複数回答) [Q29]



2. 集計対象標本の属性分布

(構成比：%、母集団対比：%ポイント)

	2020/6月調査 (A)	母集団 ^(注) (B)	母集団対比 (A) - (B)	抽出標本
--	------------------	---------------------------	--------------------	------

(性別構成)

男 性	47.6	48.3	▲ 0.7	49.6
女 性	52.4	51.7	0.7	50.4

(年齢別構成)

20～29歳	9.0	11.6	▲ 2.6	11.1
30～39歳	13.6	14.0	▲ 0.4	14.2
40～49歳	19.9	18.0	1.9	19.7
50～59歳	17.8	15.3	2.5	16.9
60～69歳	17.8	16.0	1.8	15.8
70歳以上	22.0	25.1	▲ 3.1	22.4

(地域別構成)

北海道	3.9	4.3	▲ 0.4	4.1
東 北	7.1	7.1	0.0	6.8
関 東	33.8	34.1	▲ 0.3	34.1
北 陸	4.4	4.2	0.2	4.1
中 部	15.0	14.0	1.0	14.6
近 畿	16.2	16.2	0.0	16.1
中 国	5.7	5.8	▲ 0.1	5.6
四 国	2.9	3.1	▲ 0.2	3.0
九 州	11.0	11.3	▲ 0.3	11.6

(注) 住民基本台帳に記録された2019年1月1日現在の市区町村別人口による。

3. アンケート調査結果の詳細

「生活意識に関するアンケート調査」(第82回)

— 2020年6月調査 —

- ・ 選択肢ごとに付記した数値は、有効回答者数を100としたときの各選択肢の回答比率(単位%、小数点以下第2位を四捨五入)。
- ・ 回答は、特に断りのない限り、択一。
- ・ 四捨五入等の関係から、択一回答項目についても、その回答比率の合計は必ずしも100とはならない。
- ・ ()内は、特に断りのない限り、前回調査結果(第81回、2020年3月実施)。

- Q1. 1年前と比べて、今の景気はどう変わりましたか。**
- | | |
|---------|---------------|
| 1 良くなった | 0.9 (3.3) |
| 2 変わらない | 26.0 (56.0) |
| 3 悪くなった | 72.1 (39.6) |
- Q2. Q1のご回答について、そのようにお考えになるのは、主にどのようなことからですか。
【2つまでの複数回答】**
- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 マスコミ報道を通じて | 35.7 (22.4) |
| 2 景気関連指標、経済統計をみて | 16.2 (9.8) |
| 3 勤め先や自分の店の経営状況から | 29.8 (31.9) |
| 4 自分や家族の収入の状況から | 37.5 (54.5) |
| 5 商店街、繁華街などの混み具合をみて | 25.2 (26.7) |
| 6 その他 | 9.9 (4.7) |
- Q3. 現在の景気をどう感じますか。**
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 良い | 0.2 (0.4) |
| 2 どちらかと言えば、良い | 1.3 (6.7) |
| 3 どちらとも言えない | 16.5 (36.6) |
| 4 どちらかと言えば、悪い | 40.9 (44.4) |
| 5 悪い | 40.4 (11.2) |
- Q4. 1年後の景気は、今と比べてどうなるとお考えですか。**
- | | |
|---------|---------------|
| 1 良くなる | 19.3 (5.8) |
| 2 変わらない | 32.9 (45.4) |
| 3 悪くなる | 47.0 (48.0) |
- Q5. 景気の状態を考えたとき、現在の金利水準をどのようにお考えになりますか。**
- | | |
|------------|---------------|
| 1 金利が低すぎる | 35.2 (48.0) |
| 2 適当な水準である | 41.4 (35.9) |
| 3 金利が高すぎる | 19.6 (13.4) |
- Q6. 1年前と比べて、あなたの暮らし向きがどう変わったと感じますか。**
- | | |
|---------------|---------------|
| 1 ゆとりが出てきた | 5.0 (6.1) |
| 2 どちらとも言えない | 51.3 (50.8) |
| 3 ゆとりがなくなってきた | 42.6 (42.2) |
- Q6-a. (Q6で1「ゆとりが出てきた」と答えた方へ)
その理由は次のうちどれですか。【複数回答】**
- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 給与や事業などの収入が増えたから | 62.0 (59.7) |
| 2 利子や配当などの収入が増えたから | 2.5 (5.4) |
| 3 不動産の売却などの収入があったから | 1.7 (3.1) |
| 4 物価が下がったから | 1.7 (3.1) |
| 5 不動産・株式などの資産の価格が上がったから | 0.8 (4.7) |
| 6 扶養家族が減ったから | 16.5 (14.7) |
| 7 その他 | 31.4 (24.8) |

Q6-b. (Q6で3「ゆとりがなくなってきた」と答えた方へ)	
その理由は次のうちどれですか。【複数回答】	
1 給与や事業などの収入が減ったから	58.0 (52.3)
2 利子や配当などの収入が減ったから	15.1 (11.6)
3 不動産の購入などの支出があったから	3.2 (3.3)
4 物価が上がったから	43.3 (54.7)
5 不動産・株式などの資産の価格が下がったから	9.1 (4.3)
6 扶養家族が増えたから	6.6 (9.6)
7 その他	21.8 (21.6)
Q7. 1年前と比べて、あなたの世帯の収入はどう変わりましたか。	
1 増えた	8.9 (11.8)
2 変わらない	50.5 (52.7)
3 減った	39.1 (34.8)
Q8. 1年後のあなたの世帯の収入は、現在と比べてどうなるとお考えですか。	
1 増える	8.0 (9.1)
2 変わらない	50.7 (54.1)
3 減る	39.3 (35.9)
Q9. 1年前と比べて、あなたの世帯の支出はどう変わりましたか。	
1 増えた	31.8 (40.9)
2 変わらない	45.6 (41.6)
3 減った	20.8 (16.5)
Q9-a. (Q9で1「増えた」と答えた方へ)	
支出が増えたのはなぜですか。【複数回答】	
1 収入が増えたから	5.7 (7.6)
2 将来の収入増が見込まれるから	2.2 (1.7)
3 不動産など実物資産が値上がりしたから	1.4 (1.3)
4 株式や債券などの金融資産が値上がりしたから	0.3 (0.6)
5 住宅など不動産を購入したから	5.6 (5.0)
6 車など耐久消費財を購入したから	18.6 (20.8)
7 扶養家族の増加などに伴う支出があったから	23.9 (22.0)
8 生活関連の物やサービスの値段が上がったから	59.2 (62.0)
9 その他	26.6 (25.4)
Q9-b. (Q9で3「減った」と答えた方へ)	
支出が減ったのはなぜですか。【複数回答】	
1 収入が減ったから	63.5 (68.6)
2 将来の収入増が見込まれないから	42.9 (43.5)
3 不動産など実物資産が値下がりしたから	3.8 (2.9)
4 株式や債券などの金融資産が値下がりしたから	8.5 (5.5)
5 扶養家族の減少などに伴い支出が減ったから	10.1 (11.2)
6 生活関連の物やサービスの値段が下がったから	5.0 (6.1)
7 その他	18.8 (17.0)
Q10. Q9の支出の内訳についてお伺いします。	
(1) 1年前と比べて、生活費や教育費などの日常的な支出をどうしていますか。	
1 増やしている	15.9 (16.8)
2 変えていない	52.5 (54.0)
3 減らしている	29.1 (27.7)
(2) 1年前と比べて、趣味やレジャーなど選択的な支出をどうしていますか。	
1 増やしている	4.9 (8.0)
2 変えていない	36.6 (44.6)
3 減らしている	56.3 (46.1)

Q11. 今後1年間の支出についてお伺いします。

(1) 今後1年間、あなたの世帯では支出をどうされますか。

- | | |
|--------|---------------|
| 1 増やす | 5.8 (7.2) |
| 2 変えない | 43.3 (46.6) |
| 3 減らす | 48.8 (44.3) |

(2) あなたの世帯が今後1年間の支出を考えるにあたって特に重視することは、次のうちどれですか。

【複数回答】

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1 収入の増減 | 59.6 (56.2) |
| 2 貯蓄や株式、不動産など保有資産の増減 | 16.6 (15.2) |
| 3 ローン返済の進捗状況 | 14.7 (14.0) |
| 4 今後の物価の動向 | 43.7 (45.0) |
| 5 余暇・休暇の増減 | 24.9 (26.7) |
| 6 興味のある商品・サービスの有無 | 21.0 (21.5) |
| 7 その他 | 4.3 (4.8) |

(3) 今後1年間、商品やサービスを選ぶ際に特に重視することは、次のうちどれですか。

【3つまでの複数回答】

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 価格が安い | 50.5 (53.5) |
| 2 安全性が高い | 46.3 (44.3) |
| 3 信頼性が高い | 41.0 (36.6) |
| 4 機能が良い | 31.5 (32.5) |
| 5 長く使える | 38.9 (41.7) |
| 6 環境や社会に配慮している | 10.6 (10.9) |
| 7 デザインが良い | 6.2 (6.7) |
| 8 流行のものである | 0.5 (0.7) |
| 9 今までにない新しいものである | 2.3 (2.5) |
| 10 アフターサービスが充実している | 13.2 (13.2) |
| 11 好奇心が刺激される | 4.8 (5.1) |
| 12 健康に良い | 15.1 (15.8) |
| 13 ブランドイメージが良い | 2.4 (2.0) |
| 14 この中にはない | 0.7 (0.7) |

Q12. 次に、「物価」についてお伺いします。

あなたご自身の感じでは、「物価」は1年前と比べてどう変わりましたか
(「物価」とは、あなたが購入される物やサービスの価格全体のことです)。

※消費税率引上げ分は含めずにご回答下さい。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 かなり上がった | 10.8 (10.8) |
| 2 少し上がった | 52.1 (53.2) |
| 3 ほとんど変わらない | 32.4 (32.4) |
| 4 少し下がった | 2.5 (2.1) |
| 5 かなり下がった | 0.3 (0.3) |

Q12-a. (Q12で1または2『上がった』と答えた方へ)
「物価」が上がったことをどのように思いますか。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 どちらかと言えば、好ましいことだ | 2.4 (2.6) |
| 2 どちらかと言えば、困ったことだ | 78.7 (79.7) |
| 3 どちらとも言えない | 18.1 (17.0) |

Q12-b. (Q12で4または5『下がった』と答えた方へ)
「物価」が下がったことをどのように思いますか。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 どちらかと言えば、好ましいことだ | 29.4 (37.3) |
| 2 どちらかと言えば、困ったことだ | 41.2 (29.4) |
| 3 どちらとも言えない | 27.9 (31.4) |

Q13. それでは、1年前に比べ現在の「物価」は何%程度変わったと思いますか。

※消費税率引上げ分は含めずにご回答下さい。

—— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がった
() %
下がった
平均値^(注1) : +4.8 (+4.0)
中央値^(注2) : +3.0 (+2.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
—— 全サンプルの単純平均値は +4.9(前回調査<2020/3月実施> : +4.2)。
(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

Q14. 1年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 かなり上がる | 9.7 (6.1) |
| 2 少し上がる | 57.0 (62.3) |
| 3 ほとんど変わらない | 23.0 (26.6) |
| 4 少し下がる | 7.6 (3.5) |
| 5 かなり下がる | 1.1 (0.5) |

Q15. それでは、1年後の「物価」は現在と比べ何%程度変わると思いますか。

—— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる
() %
下がる
平均値^(注1) : +4.3 (+3.4)
中央値^(注2) : +3.0 (+2.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
—— 全サンプルの単純平均値は +4.4(前回調査<2020/3月実施> : +3.5)。
(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

Q16. 5年後の「物価」は、現在と比べるとどうなると思いますか。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 かなり上がる | 21.1 (21.6) |
| 2 少し上がる | 54.2 (58.3) |
| 3 ほとんど変わらない | 16.2 (13.3) |
| 4 少し下がる | 4.5 (4.3) |
| 5 かなり下がる | 0.8 (0.8) |

Q17. それでは、5年後の「物価」は現在と比べ毎年、平均何%程度変わると思いますか。

—— 数値をご記入のうえ、上・下いずれかに○をお願いします。なお、「0%」と思われる方は、記入欄に「0」とご記入下さい。

上がる
毎年、平均 () %
下がる
平均値^(注1) : +4.0 (+3.7)
中央値^(注2) : +2.0 (+2.0)

(注1) 極端な値を排除するために上下各々0.5%のサンプルを除いて計算した平均値。
—— 全サンプルの単純平均値は +4.1(前回調査<2020/3月実施> : +3.9)。
(注2) 回答を数値順に並べた際に中央に位置する値。

Q18. 先行きの土地の価格（地価）はどうかと思いますか。			
1 上がる		21.1	(23.3)
2 変わらない		35.4	(35.4)
3 下がる		40.7	(39.5)
Q19. 長い目で見たとき、日本経済の成長力について、どう思いますか。			
1 より高い成長が見込める		3.0	(2.3)
2 現状並みの成長が見込める		35.8	(37.1)
3 より低い成長しか見込めない		58.8	(59.3)
Q20. これから1年後を見たとき、あなた（またはご家族）は、勤め先での雇用・処遇（給与、ポスト、福利厚生など）に不安を感じますか。			
			うち勤労者 ^(注)
1 あまり感じない	21.2	(20.1)	22.6 (21.3)
2 少し感じる	46.8	(49.1)	46.7 (48.7)
3 かなり感じる	29.1	(28.0)	29.6 (29.6)
(注) 勤労者：会社員・公務員（会社役員を含む）およびパート・アルバイトなど。			

Q21～24は日本銀行に関する質問です。

- ・原則6月・12月調査において質問。ただし第46回調査（2011年6月）は実施していない。
- ・Q21(2)(3)(4)の()内は第81回調査（2020年3月実施）結果。
- ・それ以外の質問の()内は第80回調査（2019年12月実施）結果。

Q21. 次の(1)～(4)の項目は、日本銀行の2つの目的のうち「物価の安定」について述べたものです。もっともあてはまると思われる番号に1つずつ○を付けて下さい。			
(1) 日本銀行は、「物価の安定」をその目的の一つとしていることをご存知ですか。			
1 知っている		27.8	(29.6)
2 見聞きしたことはあるが、よく知らない		46.4	(43.2)
3 見聞きしたことがない		25.2	(26.4)
(2) 日本銀行が、消費者物価の前年比上昇率2%の「物価安定の目標」を掲げていることをご存知ですか。			
1 知っている		19.5	(20.7)
2 見聞きしたことはあるが、よく知らない		31.0	(35.6)
3 見聞きしたことがない		48.9	(42.9)
(3) 上記目標の実現のため、日本銀行が積極的な金融緩和を行っていることをご存知ですか。			
1 知っている		35.3	(22.9)
2 見聞きしたことはあるが、よく知らない		39.8	(37.6)
3 見聞きしたことがない		24.2	(38.3)
(4) 具体的には、現在、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を行っていることをご存知ですか。			
1 知っている		19.1	(14.2)
2 見聞きしたことはあるが、よく知らない		35.6	(30.4)
3 見聞きしたことがない		44.5	(54.1)
Q22. 日本銀行は、「金融システムの安定」をもう1つの目的としていることをご存知ですか。			
1 知っている		26.4	(23.9)
2 見聞きしたことはあるが、よく知らない		36.8	(34.9)
3 見聞きしたことがない		36.2	(40.1)

Q23. 日本銀行について、以下の(1)～(5)の項目のそれぞれに対し、あなたの考えにもっともあてはまるとと思われる番号に1つずつ○を付けて下さい。

(1) 日本銀行の活動に日頃から関心を持たれていますか。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 関心がある | 4.3 (4.5) |
| 2 どちらかと言えば、関心がある | 18.4 (16.5) |
| 3 どちらとも言えない | 31.1 (29.1) |
| 4 どちらかと言えば、関心はない | 32.5 (33.2) |
| 5 関心はない | 12.8 (15.8) |

(2) 日本銀行は私たちの生活に関係があると思いますか。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 関係がある | 37.0 (32.7) |
| 2 どちらかと言えば、関係がある | 37.3 (37.3) |
| 3 どちらとも言えない | 17.1 (17.7) |
| 4 どちらかと言えば、関係がない | 5.8 (8.4) |
| 5 関係がない | 2.0 (3.1) |

(3) 日本銀行は私たちの生活に役立っていると思いますか。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 役立っている | 18.2 (14.0) |
| 2 どちらかと言えば、役立っている | 32.2 (28.6) |
| 3 どちらとも言えない | 38.6 (44.0) |
| 4 どちらかと言えば、役立っていない | 6.3 (7.5) |
| 5 役立っていない | 3.8 (4.8) |

(4) 日本銀行の外部に対する説明はわかりやすいと思いますか。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 わかりやすい | 0.6 (0.8) |
| 2 どちらかと言えば、わかりやすい | 4.1 (4.2) |
| 3 どちらとも言えない | 39.1 (36.7) |
| 4 どちらかと言えば、わかりにくい | 37.6 (39.2) |
| 5 わかりにくい | 17.0 (17.3) |

Q23-a. (4)で4または5『わかりにくい』と答えた方へ)
わかりにくいと思われる理由は何ですか。【2つまでの複数回答】

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1 日本銀行の説明や言葉が専門的で難しい | 40.8 (39.3) |
| 2 日本銀行について基本的知識がない | 44.3 (43.9) |
| 3 金融や経済の仕組み自体がわかりにくい | 38.9 (38.4) |
| 4 そもそも日本銀行の説明を見聞きしたことがない | 29.3 (31.8) |
| 5 日本銀行についての情報の入手方法がわからない | 15.1 (14.2) |
| 6 日本銀行のホームページが使いにくい | 1.3 (1.3) |
| 7 その他 | 3.1 (2.9) |

(5) 日本銀行を信頼していますか。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 信頼している | 13.7 (12.7) |
| 2 どちらかと言えば、信頼している | 28.5 (30.8) |
| 3 どちらとも言えない | 47.3 (46.4) |
| 4 どちらかと言えば、信頼していない | 6.9 (6.0) |
| 5 信頼していない | 2.1 (2.7) |

Q23-b. (5)で1または2『信頼している』と答えた方へ)
信頼している理由は何ですか。【2つまでの複数回答】

- | | |
|---|---------------|
| 1 日本銀行の活動が物価や金融システムの安定に役立っていると思うから | 67.1 (60.5) |
| 2 政策の内容や意図に賛成だから | 9.4 (6.8) |
| 3 中立の立場で政策が行われていると思うから | 37.3 (38.3) |
| 4 日本銀行の活動について分かりやすい広報や意見聴取の努力をしていると思うから | 2.5 (1.7) |
| 5 組織や職員に誠実なイメージを持っているから | 17.5 (20.6) |
| 6 その他 | 5.3 (6.5) |

Q23-c. (5)で4または5『信頼していない』と答えた方へ
信頼していない理由は何ですか。【2つまでの複数回答】

1 日本銀行の活動が物価や金融システムの安定に役立っていると思わないから	35.2	(39.9)
2 政策の内容や意図に反対だから	15.1	(14.2)
3 中立の立場で政策が行われていると思わないから	58.4	(57.4)
4 日本銀行の活動について分かりやすい広報や意見聴取の努力が不足していると思うから	26.9	(26.2)
5 組織や職員に誠実なイメージを持っていないから	16.4	(14.8)
6 その他	6.4	(9.3)

Q24. 日常生活で使っている銀行券は汚れていると思いますか。

(1) 一万円券についてお答え下さい。

1 汚れている	3.5	(2.2)
2 どちらかと言えば、汚れている	10.0	(8.2)
3 どちらとも言えない	29.3	(26.0)
4 どちらかと言えば、きれい	44.9	(49.9)
5 きれい	11.6	(12.7)

(2) 五千円券についてお答え下さい。

1 汚れている	4.1	(2.2)
2 どちらかと言えば、汚れている	14.0	(12.2)
3 どちらとも言えない	33.8	(31.9)
4 どちらかと言えば、きれい	38.3	(41.8)
5 きれい	9.0	(10.8)

(3) 千円券についてお答え下さい。

1 汚れている	9.3	(7.1)
2 どちらかと言えば、汚れている	25.9	(25.0)
3 どちらとも言えない	34.1	(34.0)
4 どちらかと言えば、きれい	24.5	(26.3)
5 きれい	5.5	(6.5)

Q25～29は家計の決済行動に関する質問です。

- ・ Q25の () 内の数値は、第73回 (2018年3月実施) 調査結果。
- ・ Q26の () 内の数値は、第74回 (2018年6月実施) 調査結果。

Q25. 日常生活の支払いに現金を使う理由は何ですか。【複数回答】

1 多くの場所で利用できる	63.8	(63.8)
2 支払いが簡単	40.4	
3 手数料などのコストがかからない	26.5	(37.8)
4 他の支払い手段に不安がある	24.7	(19.4)
5 支払いにかかる時間が短い	12.9	(22.8)
6 その場で支払いが完了する	61.0	(73.7)
7 信頼性が高い	25.2	
8 使い過ぎる心配が少ない	48.3	(49.0)
9 匿名性が高い	11.1	(11.2)
10 その他	1.9	(4.2)
11 日常的に現金は使わない (現金しか使えない場所でのみ使う)	8.2	

Q26. あなたが日常生活で使っている現金以外の決済手段は何ですか。【複数回答】

1 クレジットカード	72.3	(70.2)
2 デビットカード ^(注1)	5.3	(4.0)
3 電子マネー（読み取り機をタッチするもの）	41.4	(27.3)
4 バーコード・QRコード決済	17.8	
5 プリペイドカード	13.6	(18.0)
6 代金引換	17.0	(23.3)
7 コンビニなどでの収納代行	28.3	(36.2)
8 金融機関窓口やATMからの振込	31.6	(42.2)
9 インターネット・モバイルバンキングでの振込 ^(注2)	12.8	(13.5)
10 金融機関口座からの自動引落	50.2	(63.4)
11 その他	0.1	(0.2)
12 現金以外は使わない	6.3	(5.2)

(注1) 買い物等の際、銀行で発行されたカードを提示して支払うと、預金口座から支払代金がすぐに引き落とされる仕組み。利用するカードとしては、「クレジットブランドのマークがついているデビットカード」と「銀行のキャッシュカード」の2種類がある。

(注2) パソコンや携帯電話・スマートフォン（含むアプリ）を用いて受けられる銀行の振込サービス。

Q26-a. (Q26で1～11のいずれかを選んだ方へ)

あなたが現金以外の決済手段を利用する理由は何ですか。【複数回答】

1 手荷物（現金・カード等）が軽減できる	13.1
2 支払いが簡単	61.4
3 利用明細や履歴を照会できる	28.3
4 ポイントや割引などの便益がある	62.8
5 後払い、分割払い、ボーナス払いなどが利用できる	18.3
6 現金を預金などから引き出す手間が省ける	36.5
7 現金が利用できない店舗やインターネット購入で利用できるから	30.1
8 その他	2.8

Q27. スマートフォンによる電子マネーやバーコード・QRコード決済を利用しますか。

1 よく利用する	16.4
2 時々利用する（月に1～2回程度）	12.5
3 利用していない	53.4

Q27-a. (Q27で2「時々利用する」または3「利用していない」と答えた方へ)

スマートフォンによる電子マネーやバーコード・QRコード決済について、どのように改善したら利用したい、または、もっと利用したいと思いますか。【複数回答】

1 使い方がわかりやすく、簡単になる	28.1
2 使い方を丁寧に教えてくれるサービスがある	15.4
3 使える場所や払える相手が増える	16.8
4 ポイントや便益が高まる	20.1
5 セキュリティや安全性が向上する	39.5
6 匿名性が確保される	10.4
7 サービスを提供している会社の信頼性が高まる	10.8
8 その他	1.8
9 スマートフォンを使った支払サービスが多すぎてどれを選べば良いかわからない	23.0
10 既存のもので満足しているので、改善しても特に利用したいと思わない□	8.1
11 当該機能があるスマートフォンを持っていないから利用しない□	14.0

Q28. インターネット・モバイルバンキングでの振込を利用しますか。

1 （店頭・ATMでの振込よりも）よく利用する	11.3
2 店頭・ATMの振込と併用して利用する	12.3
3 利用しない（店頭・ATMの振込を利用する）	46.0
4 利用しない（そもそも銀行振込を利用しない）	24.2

Q29. インターネット・モバイルバンキングでの振込について、どのように改善したら利用を開始したい、または、もっと利用したいと思いませんか。【複数回答】

1 使い方がわかりやすく、簡単になる	32.8
2 使い方を丁寧に教えてくれるサービスがある	14.7
3 振込手数料が下がる	31.9
4 ポイントや便益を受けられる	21.6
5 セキュリティや安全性が向上する	39.9
6 その他	1.6
7 店頭・ATMで十分なので、改善しても特に利用したいと思わない□	14.2
8 インターネットを使えない、または、スマートフォンを持っていないので、利用できない	12.0

あなたご自身のことやご家族のことについてお尋ねします。立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を分析するうえで重要な情報です。ご理解のうえ、ご回答のほどお願いいたします。

Q30. あなたの性別は次のどちらですか。

1 男性	47.6 (48.4)
2 女性	52.4 (51.6)

Q31. あなたの年齢（満年齢）は次のどれにあてはまりますか。

1 20～29歳	9.0 (7.8)
2 30～39歳	13.6 (13.4)
3 40～49歳	19.9 (19.8)
4 50～59歳	17.8 (17.5)
5 60～69歳	17.8 (19.6)
6 70歳以上	22.0 (21.8)

Q32. あなたのご職業は次のどれにあてはまりますか。

1 農林漁業	1.4 (2.1)
2 自営業・自由業	8.1 (7.6)
3 常雇（会社員・公務員など<会社役員を含む>）	40.8 (39.9)
4 臨時・日雇（パート・アルバイト）	16.5 (17.4)
5 上記1～4以外（主婦、学生、年金生活者、無職など）	32.4 (31.8)

Q33. あなたご自身および配偶者の昨年1年間の合計収入（税込）は、次のどの区分に入りますか。ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除き、年金は含めて下さい。

1 1円～300万円未満	34.8 (35.2)
2 300万円～500万円未満	29.4 (30.1)
3 500万円～1,000万円未満	25.6 (25.1)
4 1,000万円以上	6.9 (6.5)
5 収入はない	2.2 (2.0)

Q34. 現在一緒に住んでいるご家族の構成は次のどれにあてはまりますか。

1 単身世帯（一人暮らし）	13.2 (12.9)
2 1世代世帯（夫婦のみ）	26.8 (28.0)
3 2世代世帯（親と子の世帯）	49.2 (47.7)
4 3世代世帯（祖父・祖母と親と子の世帯）	8.2 (9.0)
5 その他（兄弟姉妹のみ、友人同士、祖父母と孫など）	2.0 (1.8)

日本銀行の政策や活動について、ご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

1 記入あり	18.6 (16.7)
2 記入なし	81.4 (83.3)